

平成25年度

野鳥モニターによる

足立区野鳥調査報告書



足立区 環境部 環境政策課

表紙写真提供 添田 善雄氏 中央本町にて撮影

足立区では、平成4年度から野鳥モニターの皆様のご協力のもと、区内で野鳥の生息調査を行っております。

平成25年度は、40人の野鳥モニターが区内40地域で調査を行い、71種、延べ36、776羽の野鳥を確認しました。

昨年度と比べ調査結果に大きな変化は見られませんが、一定の方法で調査を長く続けていくことで、野鳥を通して環境の変遷を感じ、私たちが身の回りの環境とどう関わっていくべきかを考えていくきっかけにしたいと思っています。

平成25年度は、区内で観察できる虫や動植物などをまとめた「あだち自然ガイド」を作成いたしました。こちらの活用と併せて、この野鳥調査報告書が足立区の自然環境を知る一助となれば幸いです。

最後に、野鳥モニターの皆様のご協力に感謝し、この場を借りて心からお礼を申し上げます。

平成26年8月 足立区環境部環境政策課

～ 目 次 ～

I 調査概要	1
II 調査結果		
1 年間確認数と個体数	4
2 区内で繁殖行動が確認された野鳥	6
3 調査開始以来、初めて確認された野鳥	7
4 調査月別確認種数と確認個体数	8
5 確認個体数ベスト 10 及び経年変化	9
III 平成 25 年度野鳥モニターによる観察・繁殖行動記録	15
資料編		55
資料 1 平成 25 年度野鳥モニターネット名簿・担当地域	56
資料 2 調査月別確認種と個体数	58
資料 3 ブロック別確認種と個体数	60
資料 4～9 各調査月に確認された野鳥	62
資料 10 年度別確認種及び個体数一覧	68
資料 11 平成 25 年度野鳥モニター活動記録	74

I 調査概要

1 目的

「野鳥モニター」による定期的な野鳥生息状況調査を実施することで、自然環境の変化を把握し、環境保全のための基礎資料とする。調査結果は広報等を通じて区民に知らせることにより、身近な野鳥に关心を持ち、自然環境を大切にする意識を育てる。

2 調査期間

平成25年5月1日～平成26年3月31日

3 調査方法

(1) 調査方法

調査地域をゆっくりと歩きながら（時速2km程度）、観察された野鳥の種名・個体数を記録する。また、営巣や給餌等の特別な行動が観察された場合には、詳細を記録する。

(2) 調査人数

野鳥モニター40名による

(3) 調査項目

種名・個体数・営巣および給餌などの特別な行動

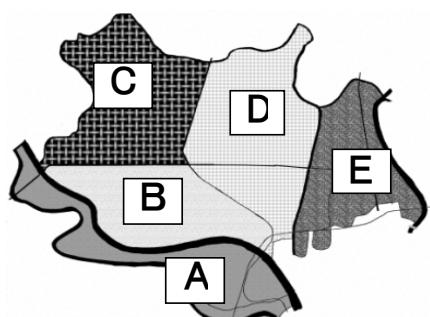
(4) 調査日時

毎奇数月で各モニターが任意に選んだ1日のうち、午前6時から10時までの間の2時間程度。（調査回数は各地域とも年6回）

4 調査地域

野鳥モニターの居住地周辺で、野鳥が多く観察される地域、および荒川両岸の河川敷について、A～Eの5ブロックに分け、全体で40地域を調査地域として設定した。

ブロック	番号	地域
A	1	小台全域（河川敷含む）
	2	新田全域（荒川右岸河川敷含む）
	3	千住曙町、千住関屋町、千住東一・二丁目、千住仲町、日光街道以東の千住河原町、千住橋戸町
	4	千住五丁目、日ノ出町全域（河川敷含む）
	5	千住桜木一丁目、千住緑町全域（隅田川含む）、日光街道以西の千住河原町、千住橋戸町、千住宮元町
	6	千住元町（荒川河川敷除く）、千住桜木二丁目
	7	西新井橋～千住新橋（荒川河川敷右岸）
	8	宮城全域（河川敷含む）
	9	柳原一・二丁目（荒川右岸河川敷含む）
B	10	扇大橋～西新井橋（荒川左岸河川敷）
	11	興野二丁目、扇三丁目
	12	熊之木～江北橋（荒川左岸河川敷）
	13	鹿浜橋～熊之木（荒川左岸河川敷）
	14	関原二・三丁目、梅田五・八丁目、西新井栄町一丁目
	15	千住新橋～東武線鉄橋南（荒川左岸河川敷）
	16	西新井橋～千住新橋（荒川河川敷左岸）
	17	江北橋～扇大橋（荒川左岸河川敷）
C	18	都市農業公園（新芝川含む）、芝川水門～鹿浜橋（荒川左岸河川敷）
	19	舍人一・二丁目（見沼代親水公園含む）
	20	舍人公園
	21	舍人三～六丁目（毛長川含む）、古千谷本町三・四丁目
	22	西竹の塚二丁目、伊興本町一・二丁目、東伊興二・三丁目（毛長川含む）



【調査地域】

Aブロック	9地域
Bブロック	8地域
Cブロック	5地域
Dブロック	8地域
Eブロック	10地域

計 40地域

ブロック	番号	地域
D	23	梅島一～三丁目
	24	花畠七・八丁目（綾瀬川右岸）
	25	島根全域
	26	西綾瀬全域
	27	西保木間一～三丁目
	28	花畠三～五丁目
	29	保木間一～三丁目
	30	保木間四～五丁目
E	31	大谷田一丁目
	32	大谷田二（中川含む）～五丁目
	33	加平一～三丁目、しょうぶ沼公園
	34	佐野一丁目、六木二丁目（中川含む）
	35	佐野二丁目、辰沼全域、六木一丁目
	36	神明一～三丁目、六木三・四丁目（堀川、中川含む）
	37	神明南一・二丁目、北加平町
	38	東和全域・谷中公園
	39	中川五丁目（中川右岸区境まで含む）
	40	東綾瀬公園

平成25年度までのモニター人数と調査地域数は以下のとおりである。

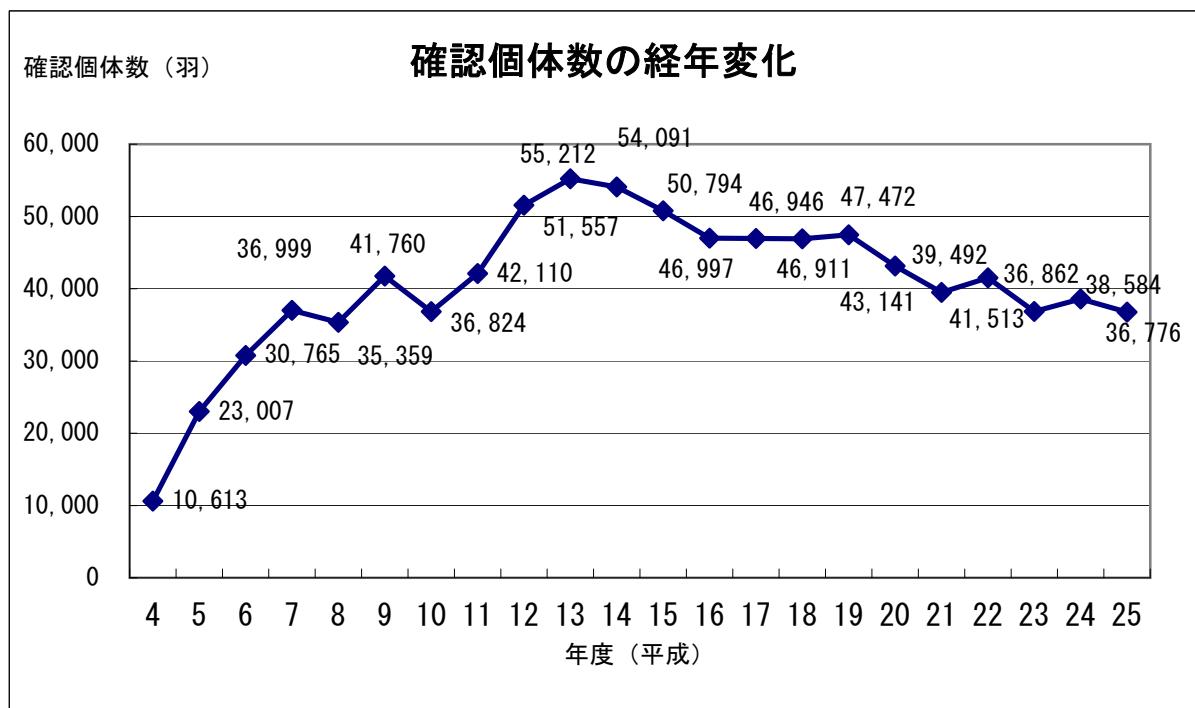
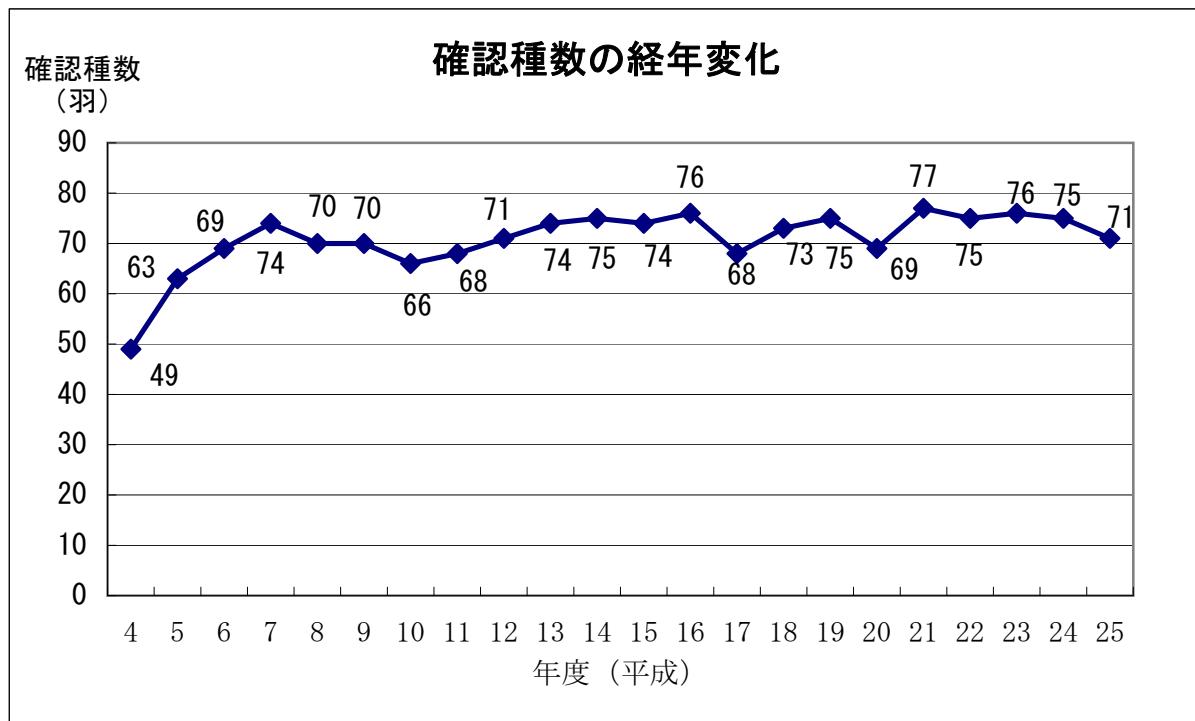
《野鳥モニター人数・調査地域数（平成4年度～平成25年度）》

年度（平成）	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25
モニター人数	23	36	36	31	27	30	29	32	31	33	34	36	33	35	36	37	34	36	38	36	40	40
調査地域数	23	36	36	36	32	35	34	37	38	39	40	40	38	40	39	39	39	39	41	41	41	40

II 調査結果

1 年間確認種数と個体数

平成25年度の調査で確認された野鳥は、71種、延べ36,776羽であった。



NO	目名	科名	種名	合計	NO	目名	科名	種名	合計	
1	カイツブリ	カイツブリ	カイツブリ	19	41	スズメ	ヒバリ	ヒバリ	71	
2			カンムリカイツブリ	1	42		ツバメ	ツバメ	419	
3	ペリカン	ウ	カワウ	1085	43			イワツバメ	26	
4	コウノトリ	サギ	ゴイサギ	8	44		セキレイ	ハクセキレイ	439	
5			ダイサギ	71	45			タヒバリ	41	
6			チュウサギ	1	46		ヒヨドリ	ヒヨドリ	2173	
7			コサギ	63	47		モズ	モズ	69	
8			アオサギ	100	48		ツグミ	ジョウビタキ	41	
9	カモ	カモ	マガモ	4	49			イソヒヨドリ	2	
10			カルガモ	677	50			アカハラ	1	
11			コガモ	176	51			シロハラ	1	
12			ヒドリガモ	1301	52			ツグミ	459	
13			アメリカヒドリ	1	53		ウグイス	ウグイス	24	
14			オナガガモ	380	54			オオヨシキリ	29	
15			ハシビロガモ	28	55			センダイムシクイ	1	
16			ホシハジロ	12	56			セッカ	10	
17			キンクロハジロ	16	57			ヒタキ	コサメビタキ	1
18			スズガモ	117	58			エナガ	エナガ	26
19	タカ	タカ	ミサゴ	1	59		シジュウカラ	ヒガラ	3	
20			トビ	1	60			シジュウカラ	476	
21			オオタカ	2	61			メジロ	375	
22		ハヤブサ	ハヤブサ	1	62		ホオジロ	ホオジロ	17	
23			チョウゲンボウ	20	63			アオジ	46	
24	ツル	クイナ	バン	43	64			オオジュリン	122	
25			オオバン	229	65			アトリ	カワラヒワ	529
26	チドリ	チドリ	コチドリ	7	66			シメ	1	
27			メダイチドリ	18	67			ハタオリドリ	スズメ	13580
28			シギ	キアシシギ	4	68		ムクドリ	ムクドリ	7156
29				イソシギ	91	69		カラス	オナガ	929
30				チュウシャクシギ	4	70			ハシボソガラス	965
31				タシギ	7	71			ハシブトガラス	1203
32		セイタカシギ	セイタカシギ	15				種名特定できず	カラス S P	10
33		カモメ	ユリカモメ	2010				確認種個体数合計 (羽)		36776
34			セグロカモメ	170						
35			オオセグロカモメ	3						
36			ウミネコ	129						
37			コアジサシ	59						
38	ハト	ハト	キジバト	628						
39	ブッポウソウ	カワセミ	カワセミ	11						
40	キツツキ	キツツキ	コグラ	18						

※ S P…種名まで特定できなかったもの

【参考】かご抜け (家禽やペットが野生化したもの)

NO	目名	科名	種名	合計
	かご抜け		ワカケホンセイインコ	33
	かご抜け個体数合計 (羽)			33

2 区内で繁殖行動が確認された野鳥

平成25年度に営巣・抱卵・雛・幼鳥等の観察によって繁殖行動が確認されたのは、14種であった。

《区内で繁殖行動が確認された野鳥（年度別）》

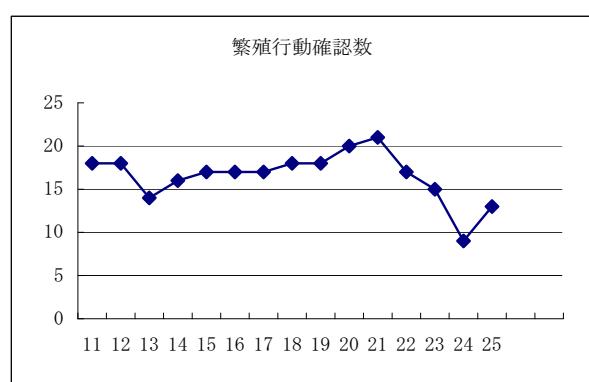
No.	種名	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25
1	カイツブリ	○									○					
2	ササゴイ						○	○	○		○					
3	ゴイサギ		○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	●		
4	コサギ				○		○				○	○				
5	アオサギ				○											
6	カルガモ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
7	チョウゲンボウ	○	○			○		○		○						
8	バン	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
9	コチドリ		○			○			○			○	○			
10	イソシギ			○							○					
11	コアジサシ					○		○								○
12	キジバト	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
13	ヒメアマツバメ								○	○						
14	カワセミ		○									○				
15	コゲラ				○					○			●			
16	ヒバリ	○					○			○	○	○	○			○
17	ツバメ		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
18	イワツバメ	○	○				○	○	○	○	○	○	○			
19	ハクセキレイ	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○				○
20	ヒヨドリ	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○
21	モズ	○														
22	ウグイス					○										
23	オオヨシキリ	○		○		○	○		○	○	○	○				○
24	セッカ		○	○												
25	シジュウカラ	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○
26	メジロ										○	○				
27	カワラヒワ	○	○		○		○	○		○	○	○	●			
28	スズメ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
29	コムクドリ			○		○										
30	ムクドリ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
31	オナガ	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
32	ハシボソガラス	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
33	ハシブトガラス	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

繁殖行動確認数

※網掛けは平成25年度に繁殖行動が確認された種

※●=幼鳥のみ

※『繁殖行動の確認』とは、繁殖に伴う行動や状況等により、野鳥モニターが区内で繁殖行動をしたと判断したもの



3 調査開始以来、初めて確認された野鳥

ミサゴ（タカ目タカ科）

1月に確認された。

翼が細長く尾は短い。頭部は白く黒い過眼線がある。体の上面は黒褐色。体の下面是白くて胸に黒褐色の帯がある。翼は、上面は一様に黒褐色で、下面には白色が多い。飛翔中、下から見たとき、日本産のワシタカ類の中で白っぽく見えるもののひとつ。帆翔時、両翼は水平。停空飛翔をしてから水中に急降下し、魚を捕る。

（文章引用：日本野鳥の会「野山の鳥」北隆館 1992年、30頁）



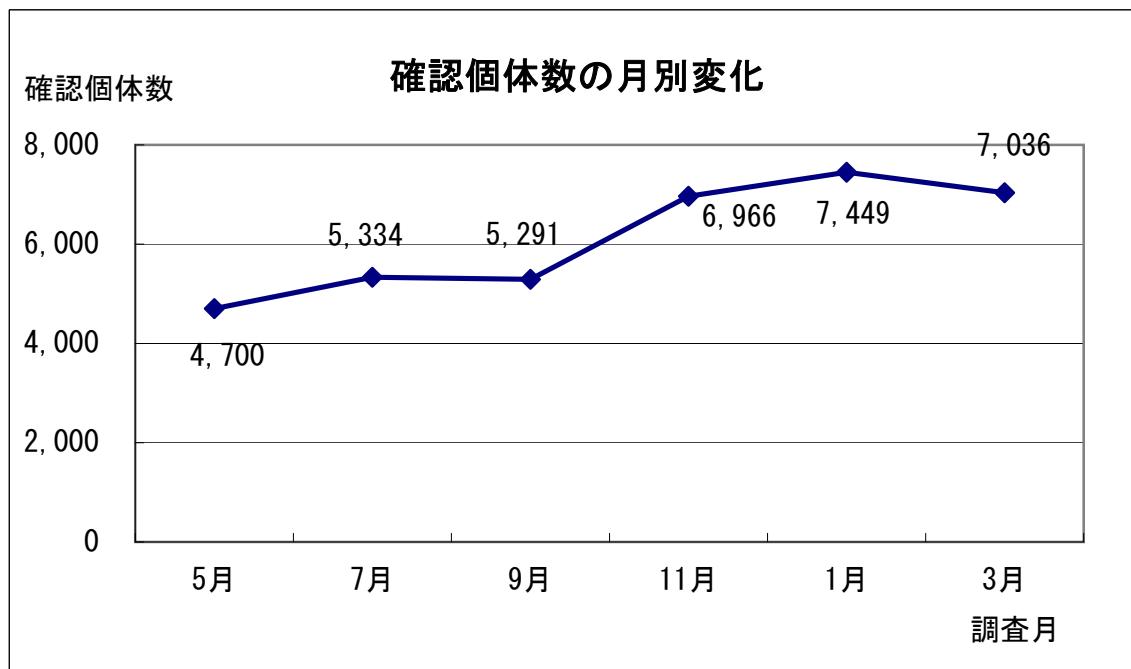
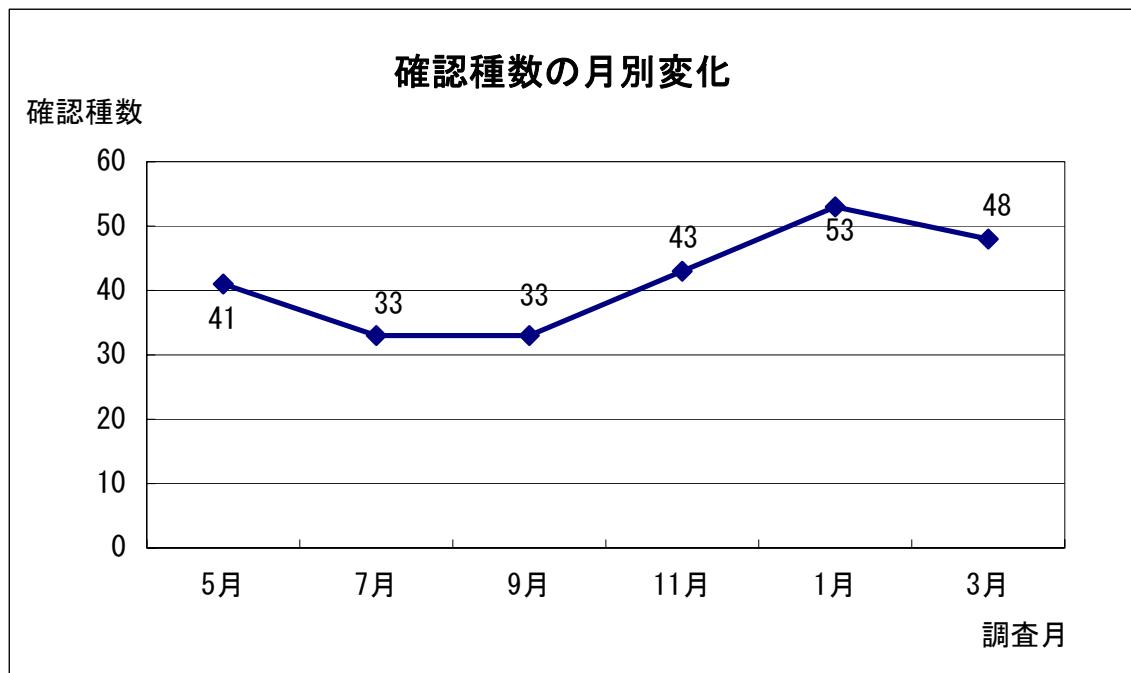
写真提供：中尾 文枝氏 千葉県印旛沼にて撮影

確認月 平成26年 1月

地域 Bブロック

区分 その他（上空を通過）

4 調査月別確認種数と確認個体数



5 確認個体数ベスト10

(1) 調査月別 確認個体数ベスト10及び経年変化

順位	5月	7月	9月	11月	1月	3月
1	スズメ 1,880	スズメ 2,003	スズメ 3,182	スズメ 2,269	スズメ 2,354	スズメ 1,892
2	ムクドリ 1,268	ムクドリ 1,909	ムクドリ 1,044	ヒヨドリ 898	ムクドリ 1,011	ムクドリ 1,056
3	ハシブトガラス 207	ツバメ 222	ハシブトガラス 193	ムクドリ 868	ヒヨドリ 644	ユリカモメ 766
4	ツバメ 188	オナガ 176	オナガ 151	ユリカモメ 596	ユリカモメ 643	ヒドリガモ 480
5	オナガ 168	ハシブトガラス 162	ハシボソガラス 137	カワウ 382	ヒドリガモ 542	ヒヨドリ 421
6	キジバト 134	ハシボソガラス 161	キジバト 103	ヒドリガモ 279	カワウ 236	ツグミ 341
7	カワウ 130	キジバト 107	シジュウカラ 77	ハシブトガラス 233	ハシブトガラス 187	ハシブトガラス 221
8	ハシボソガラス 124	カルガモ 88	カルガモ 71	カルガモ 165	ハシボソガラス 176	ハシボソガラス 208
9	カルガモ 115	ウミネコ 87	ヒヨドリ 64	ハシボソガラス 159	オナガガモ 173	カワウ 207
10	カワラヒワ 79	シジュウカラ 80	カワウ 63	オナガ 143	カワラヒワ 162	カワラヒワ 161

(2) H25の確認個体数ベスト10の経年変化①

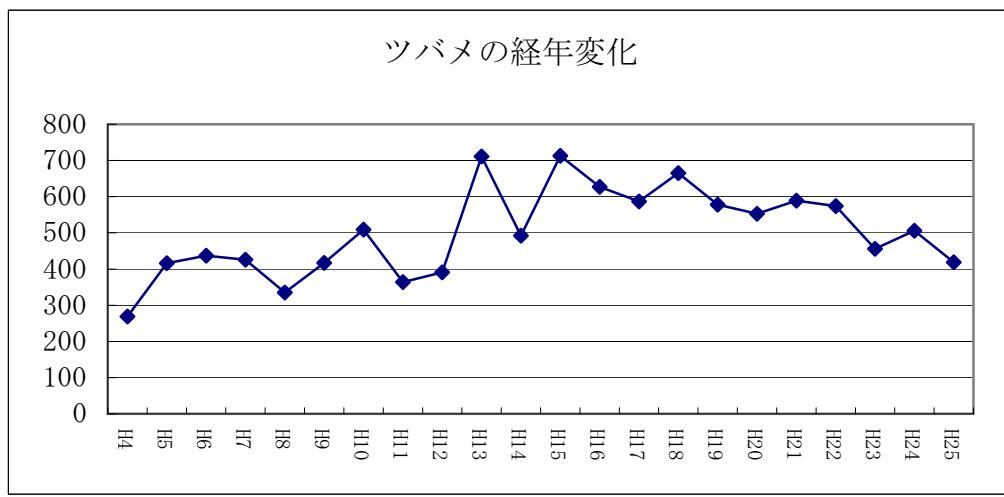
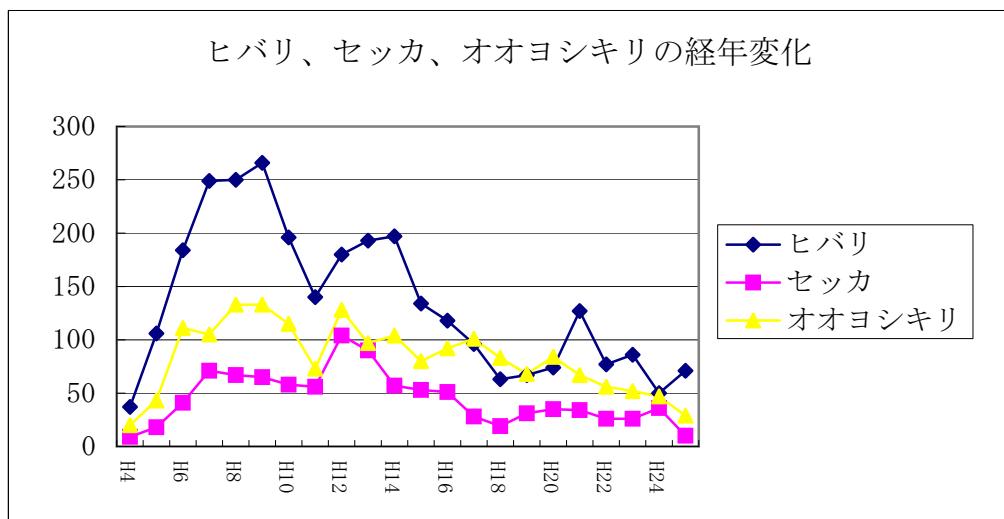
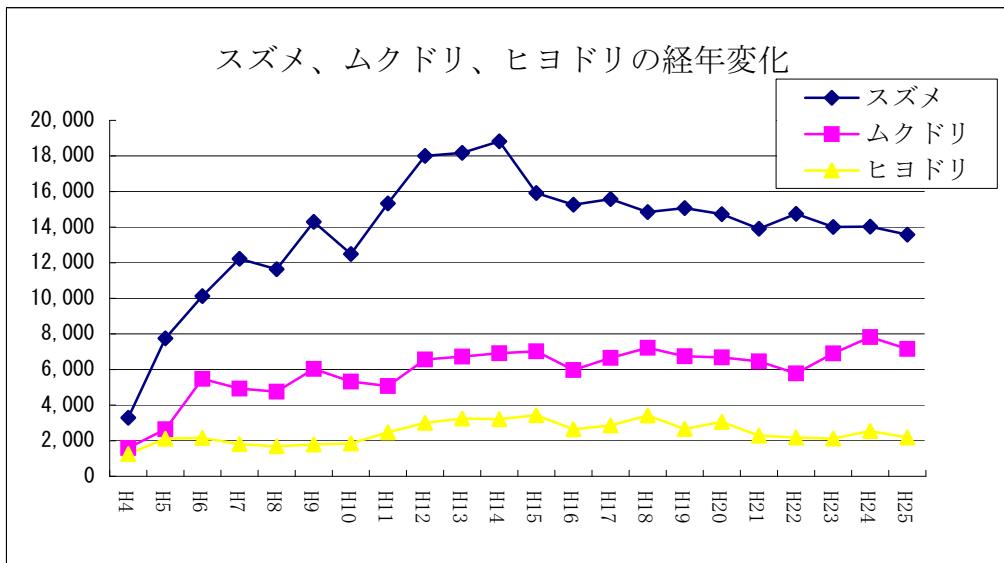
調査を開始した平成4年度以来、最も確認個体数累計が多いのはスズメである。平成25年度の確認個体数ベスト10の経年変化を表にした。

平成25年度もムクドリの確認個体数が多かった。

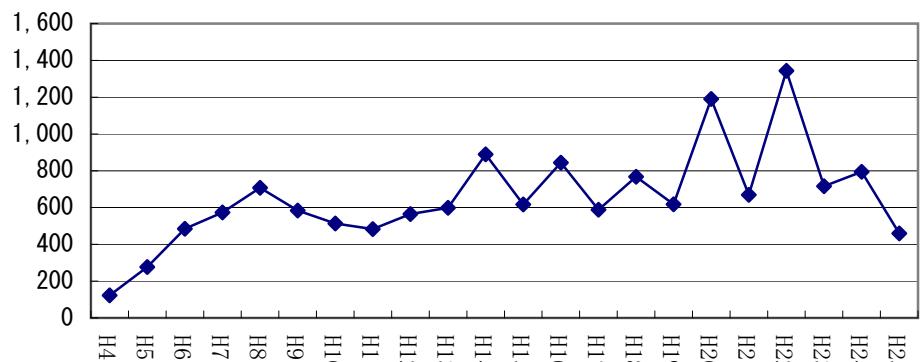
平成25年度の確認個体数ベスト10に入る種類の確認個体数累計の合計は、31,079羽で、全体の84%に相当する。

順位	種名	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度
1	スズメ	13,913	14,747	14,010	14,028	13,580
2	ムクドリ	6,459	5,781	6,902	7,823	7,156
3	ヒヨドリ	2,285	2,178	2,118	2,597	2,173
4	ユリカモメ	2,899	3,793	1,448	1,424	2,010
5	ヒドリガモ	1,578	1,925	739	805	1,301
6	ハシブトガラス	1,702	1,642	1,707	1,223	1,203
7	カワウ	1,356	1,548	963	1,057	1,085
8	ハシボソガラス	834	829	922	912	965
9	オナガ	739	757	763	990	929
10	カルガモ	690	757	760	786	677
合計		32,455	33,957	30,332	31,645	31,079

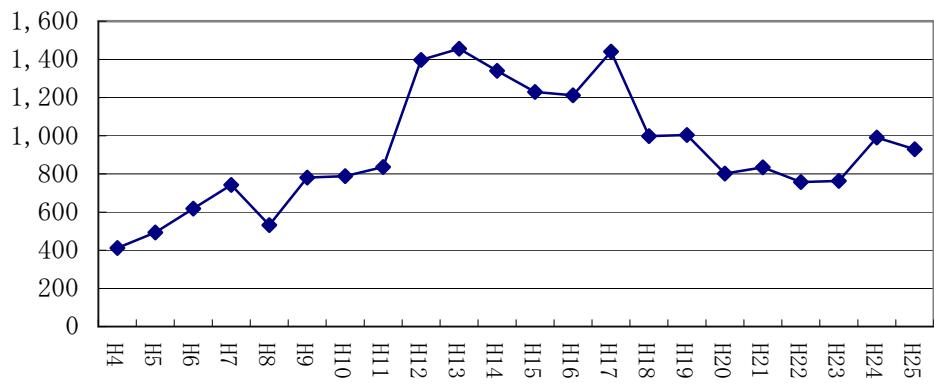
(3) H25の確認個体数ベスト10及びその他の種の経年変化②



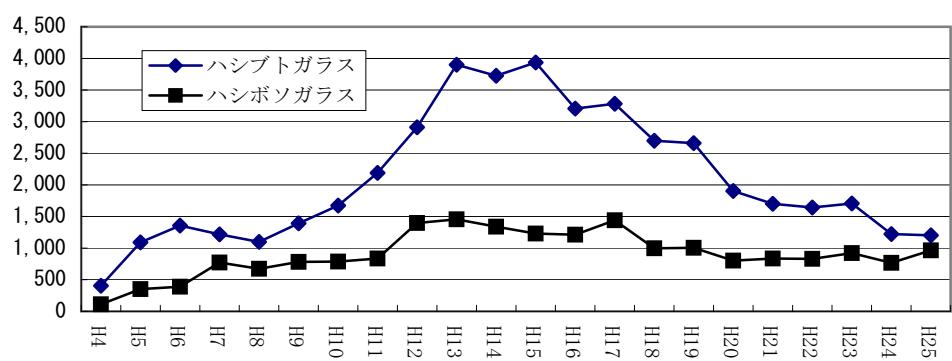
ツグミの経年変化

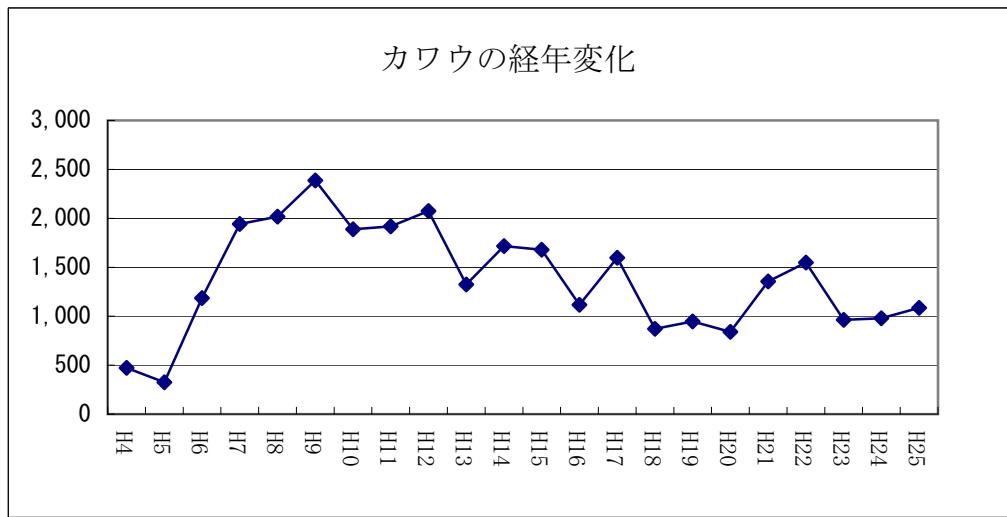
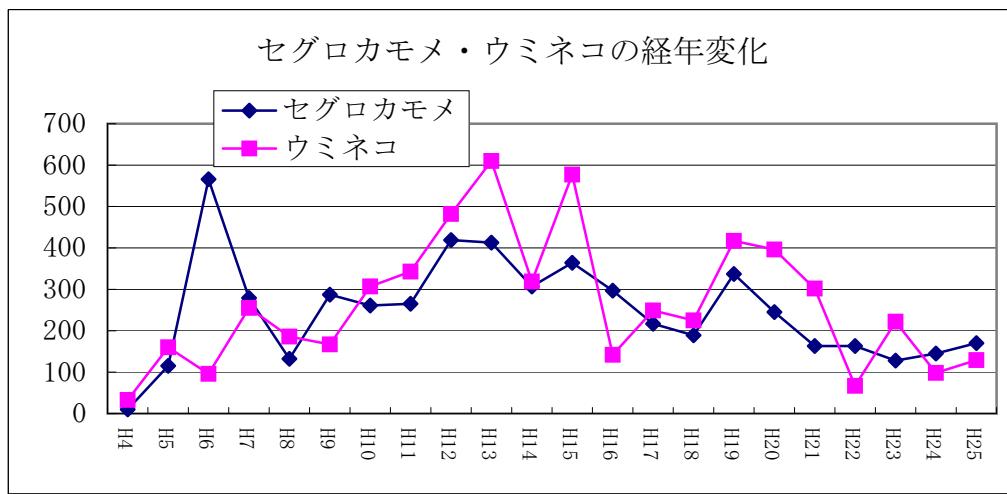
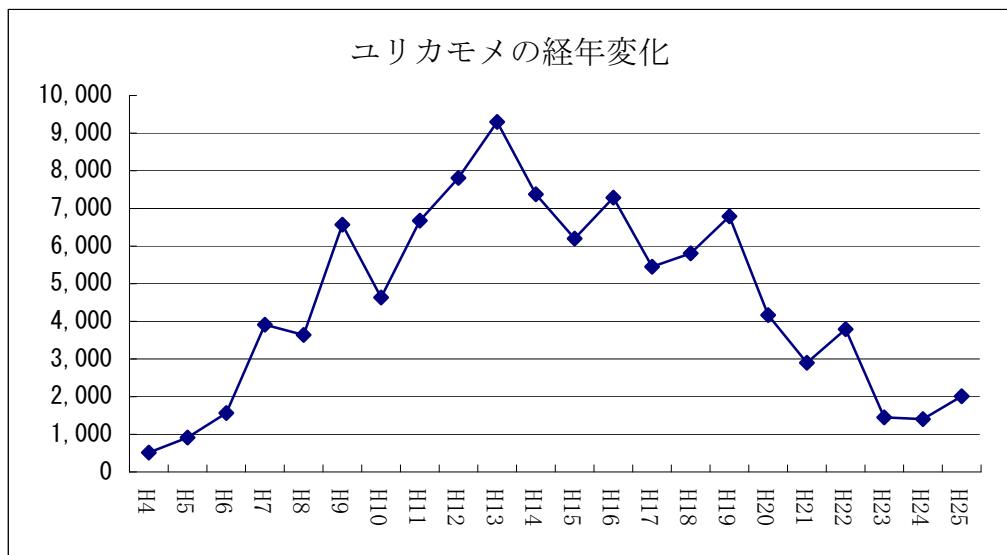


オナガの経年変化

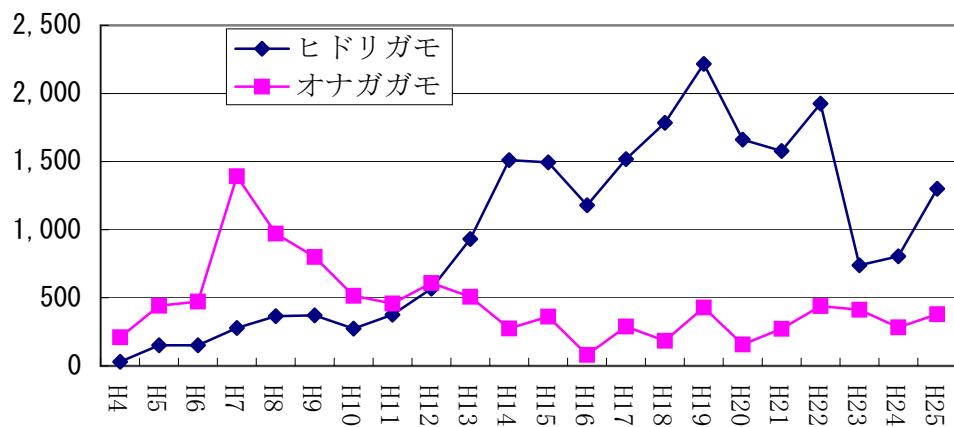


ハシブトガラス、ハシボソガラスの経年変化

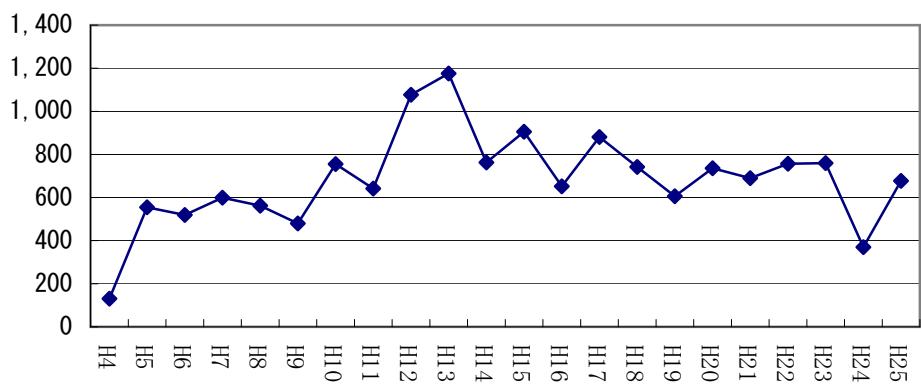




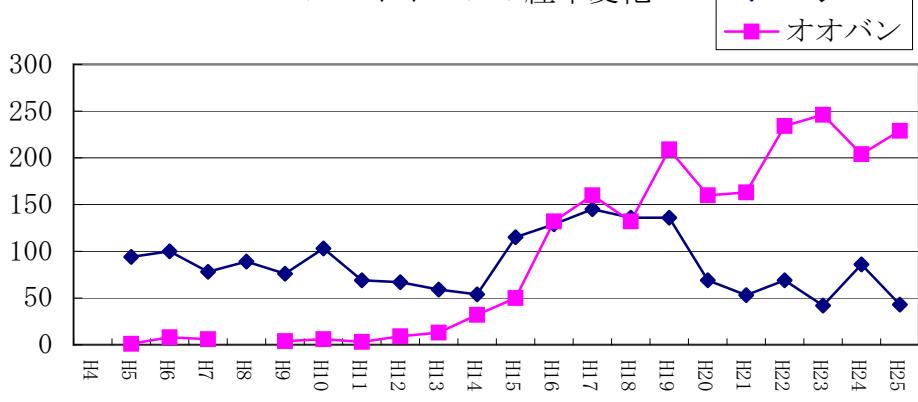
ヒドリガモ・オナガガモの経年変化



カルガモの経年変化



バン・オオバンの経年変化



平成25年度 野鳥モニターによる 観察・繁殖行動記録

※調査書のコメントをまとめたもの
※11月、1月は繁殖行動記録なし

平成 25 年度 野鳥モニターによる 観察・繁殖行動記録

目次

平成 25 年 5 月観察記録	17
平成 25 年 5 月繁殖行動確認	23
平成 25 年 7 月観察記録	25
平成 25 年 7 月繁殖行動確認	30
平成 25 年 9 月観察記録	32
平成 25 年 9 月繁殖行動確認	37
平成 25 年 11 月観察記録	38
平成 26 年 1 月観察記録	43
平成 26 年 3 月観察記録	48
平成 26 年 3 月繁殖行動確認	54

平成25年5月（観察記録）

観察日	種名	観察記録	観察者 (敬称略)
4	ハシブトガラス コアジサシ	・荒川左岸河川敷に、自然樹木（モチノキ）にハシブトガラスの巣を確認。抱卵中。 ・河川敷の残土堆積地にコアジサシのコロニーを形成確認、繁殖可能性あり。	Bブロック
5	ハシブトガラス	・ハシブトガラスに餌をあげている人がいる。カラスは警戒してすぐには食べない。今日は鳥の姿も声も少ない朝でした。 ・五反野駅近くの和菓子店のツバメの巣、今日の時点で空室でした。	Dブロック
5	ウグイス カワラヒワ	・島根二丁目の都営住宅内の木にウグイスがすばらしい声でさえずっていました。近所の人も感心して聞いていました。昔行われていたウグイスの鳴きあわせ会に出ても、上位入賞しそうな、すばらしい鳴き声でした。 ・民家の木にカワラヒワも観察されました。	Dブロック
5	チュウシャクシギ キアシシギ メダイチドリ タシギ ハシブトガラス	・西新井橋近くの木工沈床と河岸の間に干潟ができ、そこにチュウシャクシギ・キアシシギ・メダイチドリ・タシギ等が来て餌を探していた。 ・ハシブトガラスがヘビのようなものをくわえ、荒川側から高速道路の橋脚の上に飛んで来た。そこにはもう一羽のハシブトガラスがいて、それを受け取って食べた。求愛給餌と考えられる。飛んで来たハシブトガラスは、頭から胸、足が灰色になっていた。このため、ヘビのようなものを捕まえるときに泥まみれになり、それが乾いて灰色になったと考えられる。ヘビのようなものは、体の後ろ半分がオレンジ色に見えたので、タウナギの幼魚だと考えられる。平成25年3月9日の調査時にカワセミが食べていたのも、タウナギの幼魚だと思われるため、複数の個体が生息していると考えられる。	Bブロック
6	オナガ	・調査地域全体でオナガを観察した。餌を銜えて飛んでいる個体も見る。巣立った幼鳥は飛ぶ力がまだ弱いのか、樹木の低い位置や地面に降りて餌をさがしている。	Eブロック
6	ハシブトガラス カルガモ ツバメ	・ハシブトガラスが口に茶色の物をくわえて、飛んで木の枝をついばんでいた。 ・カルガモの親子。ビオトープ公園のため池にカルガモの幼鳥8羽が後について泳いでいた。今年初めてみる光景に心がなごんだ。 ・ツバメ。町中の人家のそばの電線にツバメの姿をよく見かける。確認すると玄関前の外から見えない場所に2つも巣があった。幼鳥の気配は無く、そのうちツバメも姿も見えなくなった。	Dブロック

平成25年5月（観察記録）

観察日	種名	観察記録	観察者 (敬称略)
6	オナガツバメ	<ul style="list-style-type: none"> 千住神社のオナガは物まね上手のようだ。この間はカイツブリのような鳴き声をしていたが、今日は何の声だろうと判断に困る鳴き声をしていたのでポプラの木から流れる声の主をしばらくさがしていると飛び出したのはオナガ…。 ツバメの飛ぶ原っぱは5月1日から工事が始まるとの立看板。その横の原っぱだった所はすっかり幕が張られていた。ツバメが飛ぶのはこの夏限りになってしまうのだろうか。 	Aブロック
8	センダイムシクイ	<ul style="list-style-type: none"> 大きなマンションに併設された公園で聞き覚えのある鳴き声を聞いて探してみると、いた。間違いなくセンダイムシクイ。小さくて動きが速い。写真を撮ってみたが細い枝先を渡り歩いていてピントが合わせられない。それでも、これからさらに北を目指す小さな命に出会えた幸せを感じずにはいられなかった。 	Aブロック
8	コアジサシ オオヨシキリ イワツバメ ツバメ	<ul style="list-style-type: none"> 今年もコアジサシ（初見4/24）、オオヨシキリ、ツバメ、イワツバメが戻ってきた（25.5.8荒川鹿浜橋右岸） 	Aブロック
10	オナガムクドリ	<ul style="list-style-type: none"> しょうぶ沼公園：桜の木にオナガ、ムクドリが実をついばんでいた。実数はもっと多いと思われる。（葉の陰影で数えるのがむずかしい） 先入観か春には「鳥がにぎやかに鳴く」と思っている。どうも数、種類が少ないと思う。観察に問題がないか不安です。 	Eブロック
10	ムクドリ	<ul style="list-style-type: none"> 河川敷のクワの実が熟して、ムクドリが楽しんでいましたが、ヒヨドリは来ていませんでした。ツグミもまだ少しあるのではと思っているのですが、観察は出来ませんでした。 	Bブロック
11	チュウシャクシギ キアシシギ ユリカモメ	<ul style="list-style-type: none"> ツバメとムクドリはそれぞれ一つがいの営巣を確認しました。スズメを含めて幼鳥は確認できませんでした。 川は満潮でしたが杭の上にチュウシャクシギ、キアシシギが確認できて嬉しかったです。上流側の杭にもキアシシギが2羽確認できました。シギは渡りの最盛期のようです。 河川敷で一番目立ったのはノイバラの白い花と素晴らしい香りです。残っているユリカモメは第一回夏羽ばかりで、今年は繁殖しないのでしょうか。 ここ数年心配しているのはオオヨシキリの減少です。今回も一羽も確認できませんでした。オオヨシキリが占めていた場所に他の鳥が入るでもなく、静かな芦原でした。セッカ、ヒバリの姿もなく担当地域の種類数が減っているのが心配です。 	Aブロック

平成25年5月（観察記録）

観察日	種名	観察記録	観察者 (敬称略)
11	ムクドリ ワカケホンセイ インコ スズメ	<ul style="list-style-type: none"> とにかくムクドリが多く、巣作りでしょうか、羽毛をくわえて家の板かべのすき間にぐり込んでいくのが見られました。 ツバメの古い巣がいっぱい付いている工場があるのですが、1個も使われているものはありませんでした。 ゴルフの打ちっ放しの鉄塔に、ムクドリ、ワカケホンセイインコ、スズメが群っていました。 	Eブロック
11	ムクドリ スズメ シジュウカラ カルガモ バン カイツブリ ツバメ	<ul style="list-style-type: none"> 若葉青葉の美しい季節になりました。野鳥も一生懸命子育てをしている姿や、巣立ち始めた幼鳥も見られるようになりました。 ムクドリが餌をくわえては素早く飛び去ってゆきます。 スズメも嘴の横が黄色い幼鳥が飛びまわっています。 そんな中、私が初めて舎人公園の中でシジュウカラの子育てをしている巣を発見しました。お年寄がゲートボールを楽しんでいる西園の林に古木があります。その木の一ヶ所に小さな穴がありました。そこに入れ代りシジュウカラが出入りしています。あたりを気にしながら、その穴に入ると尾羽が少々見えます。少しすると、又、飛び立つてゆきます。このような動作が繰り返されていますが雛の姿を見ることは出来ません。 カルガモも大池で雛を連れている姿を2ヶ所で見られました。1ヶ所はまだふ化したばかりの小さな雛6羽、なんの危険も感じず陸に近寄ってきます。もう1ヶ所はだいぶしっかり成長した雛でしたが3羽しか見当たりません。 他にも大池のヨシの中では、バンやカイツブリが子育てをしていると思われます。親鳥が雛をつれて動きまわる姿を楽しみにしています。 ツバメも公園東側の2軒の家のガレージに巣を作り、その中でじっとしています。もうすぐ雛の姿が見られると思います。 	Cブロック
12	スズメ カワラヒワ	<ul style="list-style-type: none"> 晴れ（前日雨）、一部草刈を行っていて音で、トリの声聞こえず。 スズメ：電柱のタンク下部からつきでてる棒によく住んでいた。子育てしているのも居た（エサやり） スズメ目（アトリ科？）：おそらくカワラヒワ（ピンクの足、ぼさっとした頭部、一部羽の黄色、腹部のたてすじ等確認）だと思います。母鳥が幼鳥にエサを与えていました。 	Eブロック
12	スズメ ムクドリ	<ul style="list-style-type: none"> 未明迄に雨があがり、すっきり五月晴の朝です。街路樹の緑、深紅やピンクの大輪のバラが目を楽しませてくれます。今朝のスズメ達はひそやかに飛び交わしています。 ベルモント公園の芝生上、ムクドリ達がつつき合ったり、ころげたりの光景がユーモラスでした。 	Dブロック

平成25年5月（観察記録）

観察日	種名	観察記録	観察者 (敬称略)
13		<ul style="list-style-type: none"> 6時40分頃から霧雨。薄ら寒い感じ。時々、降ったり止んだりが続く。初めて回るコースなので、期待は大きいが鳥の居そうなポイントを探しながら移動するので、時間内に回れるかどうか少し心配した。何とかぎりぎりで回れたが、鳥の種類が少ない感じがした。木の葉が茂っていて、声はするが姿が見えない場面が大分あった。他の鳥も葉陰に隠れていたかも知れない。 	Eブロック
14	モズ スズメ カルガモ	<ul style="list-style-type: none"> いつも見られたヒヨドリが見えない。 モズはいつもより多い。その一羽がミミズをくわえて歩行しているのを、スズメが数羽、そばで見ていた。 カルガモは番のようで、ヒナの誕生が待たれる。 	Cブロック
14	オナガ スズメ オオヨシキリ	<ul style="list-style-type: none"> 柳原稻荷前の電柱に営巣、巣材をオナガがつつき、下に落す。親（スズメ）がしきりにオナガにモビングしていた。ヒナの確認は未定。 スズメに追われたオナガが近くのソメイヨシノにとまる。確認すると巣があり、親が巣をあたためていた。スズメの巣材を運ぼうとしていたのかも…？ 柳原稻荷境内近くの家の玄関上の換気孔（らしい）の中に営巣。親鳥と思われるものが近くの電線にとまり激しく鳴いていた。 荒川左岸の国交省綾瀬排水機場のヨシ原でオオヨシキリの囀りを聞く。右岸には今年も飛来せず。 	Aブロック
15	ハシボソガラス ムクドリ	<ul style="list-style-type: none"> 草刈りが終った野原にハシボソガラス1羽とムクドリ達は土の中にくちばしを入れて虫を見つけて食べていました。虫をくわえて飛んで行くムクドリ、草を口いっぱいにくわえて飛んで行くムクドリ、大きすぎると思われるビニールをくわえて飛んで行くムクドリそれぞれに忙しそうでした。 5/8、5/10。荒川新田の岸近くにカンムリカツブリ1羽が浮かんでいました。水にもぐったり、毛づくろいをしたり、リラックスしているように見えました。2日間可愛い姿を見る事ができました。 5/8、新田ハートアイランド下、公園工事中の敷地内に2羽のチョウゲンボウが立ち上がり羽を広げて向かい合っていました。何故その様なポーズをしていたのか解りませんが…。レースのような白い羽は大変美しくチョウゲンボウも可愛らしくてとても感激しました。 	Bブロック
16		<ul style="list-style-type: none"> 河川敷の工事が終り、機材が撤去され、静かになりました。 ツバメ…街中でツバメの姿を見ることが出来ませんでした。古巣にも姿はなく空でした。 	Aブロック
18		<ul style="list-style-type: none"> 野鳥の繁殖の時期での調査であるが、餌運び等の行動も確認できなかつた。確認個体数は少ないが、種数8はこの時期としてまずまずと思う。 	Dブロック

平成25年5月（観察記録）

観察日	種名	観察記録	観察者 (敬称略)
19	ムクドリ	・途中の電柱の上や団地などで、盛んにスズメのヒナの声が聞えてきたが、調査区域で確認できたのは、ムクドリ（1ヶ所）だけだった。	Dブロック
20	コアジサシ ムクドリ	・久しぶりにコアジサシの姿をじっくり見ることが出来ました。空中でホバーリングをした後、水中にダイビングし小魚を捕まえて飛び去る姿はとても優雅です。大好きな鳥の一つです。 ・その他の鳥ではムクドリがやたら多かったです。	Bブロック
22		・この地域初めての調査です。全域街中のため難航した。主要部の公園等は樹木も少なめで、野鳥の生息や集結には余り適していない感がある。今後の調査時に期待したい。	Bブロック
23	カワウ カワセミ ツバメ スズメ	・下流で最初にカワウを見つける。 ・カワセミは上流のコンクリートの壁の上。（川の中にある）3月と同じところ。魚をとらえて、とんでいった。 ・ツバメはこの季節にアシの上をとびまわっている。 ・スズメは大きなむれを見なかつた。	Cブロック
24	カルガモ ツバメ	・5月7日、カルガモ11羽かえり、24日7羽。5月13日カルガモ10羽かえり、24日8羽。 ・公園から移動中、シチズンカスタマーサービスの玄関の文字板（スの上部）にツバメ2羽巣製作中	Eブロック
25	スズメ ムクドリ オナガ	・スズメやムクドリは子育ての真っ最中のように、公園隣接の住宅の軒下にムクドリが巣を作っていました。 ・また、白旗塚史跡公園ではオナガが来ていて今年も営巣が期待できそうでした。	Cブロック
25	スズメ ムクドリ	・スズメとムクドリの調査のようだった。公園でエサをくわえて四方へ飛んでゆき、ヒナの待つところへ飛び間もなく戻る。どの鳥も公園に近い処で子育てしていた。どの鳥も忙しそうだった。	Eブロック
25	シジュウカラ スズメ アオサギ コゲラ	・昨日までの暑さがうその様に少し肌寒い朝です。 ・シジュウカラやスズメは幼鳥がまじっていて、幼い声で鳴いています。 ・アオサギも幼鳥がボーと川面を見て立たずんでいます。 ・コゲラも1羽は幼鳥でした。	Eブロック
26	オオヨシキリ カルガモ	・河川敷沿いのあし原でオオヨシキリがけたたましく鳴いている。姿はなかなか見えないが声でカウントしてみる。 ・カルガモが1羽、陸に上がって食事中。	Aブロック

平成25年5月（観察記録）

観察日	種名	観察記録	観察者 (敬称略)
26	ムクドリ	・例年のことだが、この時期は農業公園はムクドリに占拠されたようで、他の鳥の姿は少ない。農業公園の田んぼの土を口にして何度も行き来していた。巣の補修だろうか？	C ブロック
28	スズメ ムクドリ	・スズメの幼鳥3回羽根をふるわせ餌をねだっている。3回とも幼鳥を1羽しか連れていらない。 ・ムクドリが多い。	E ブロック
28	コアジサシ スズメ ムクドリ ツバメ ハシブトガラス	・今年もコアジサシが飛來した。三菱製紙跡の空地は、この4月に東京理科大が開校したので何処で営巣しているのだろうか？ ・その反対に、毎年、氷川神社先の芦原で営巣していたオオヨシキリの姿が見られなかった。 ・公園内の草刈が終ったばかりなので、スズメとムクドリが目立つた。 ・残土処理場の水溜りで、ツバメが土をくわえて飛び去る。何処で営巣しているのだろうか？ ・上空でハシブトガラスが2羽、じやれあって飛んでいた。	E ブロック

平成25年5月(繁殖行動確認)

観察日	種名	確認場所	繁殖行動と判断した根拠	観察者 (敬称略)
4	ハシブトカラス	河川沿いの樹木	巣を確認。近づくと威嚇行動を確認	Bブロック
4	コアジサシ	河川敷 残土堆積地	河川から小魚を頻繁に運ぶ様子を確認	Bブロック
5	スズメ	西綾瀬	幼鳥	Dブロック
5	ハシブトカラス	西綾瀬	食べ物を与えていた。	Dブロック
6	スズメ	大谷田2丁目 民家	屋根の隙間からヒナの声がした。	Eブロック
6	オナガ	郷土博物館	巣立った幼鳥が親鳥に餌をねだっていました。	Eブロック
6	ツバメ	大谷田5丁目 民家	ツバメが巣に出入りしていた。	Eブロック
6	オナガ	大谷田公園	複数の幼鳥が林の中を飛び回っていた。	Eブロック
6	スズメ	大谷田3丁目 電柱	変電機の中に営巣していた。	Eブロック
10	スズメ	加平第二公園	公園脇の電柱上部のトランスからヒナの鳴声がした。スズメが出入りした。	Eブロック
11	ツバメ	千住元町	去年も繁殖していた巣で♀が座っていました。	Aブロック
11	ムクドリ	千住桜木2丁目	巣材をくわえた親が戸袋に入っていました。	Aブロック
11	スズメ	舍人公園 トイレ・あずまや	屋根うらにはワラが出ていたり、ヒナの鳴声が。	Cブロック
11	ムクドリ	舍人公園 管理所の倉庫	餌をひんぱんに運ぶ姿が	Cブロック
11	シジュウカラ	舍人公園 西園の林	餌をひんぱんに運ぶ姿が	Cブロック
11	カルガモ	舍人公園 大池	ヨシの中に親鳥とヒナが	Cブロック
11	ツバメ	舍人公園に接した家の車庫	親鳥が卵をあたためている姿が	Cブロック
12	スズメ	葛西用水	灰色の幼鳥にエサやりをして再び飛び去って行きました。	Eブロック
12	スズメ	電柱のタンク下部	ヒナは見ていませんがタンク下部の枠に首を突っ込んで、もう1羽も虫をくわえてまっていました。その後、同様に首を突っ込んでいました。	Eブロック

平成25年5月(繁殖行動確認)

観察日	種名	確認場所	繁殖行動と判断した根拠	観察者 (敬称略)
12	ハシブトカラス	公園	2ヶ所巣があり、内一つは使用中	Eブロック
14	スズメ	柳原2丁目 ダイトイーストアー	出入口の脇に営巣。しきりに鳴いていた。	Aブロック
14	スズメ	柳原稻荷境前の電柱	巣材をオナガがつつき、下に落す。親(スズメ)がしきりにオナガにモビングしていた。ヒナの確認は未定。	Aブロック
14	オナガ	柳原2丁目 ソメイヨシノ	スズメに追われたオナガが近くのソメイヨシノにとまる。確認すると巣があり、親が巣をあたためていた。スズメの巣材を運ぼうとしていたのかも…? 抱卵中かヒナがいるのかは未定。	Aブロック
14	スズメ	柳原稻荷境内近くの家	玄関上の換気孔(らしい)の中に営巣(ヒナがさかんに鳴いていた)。親鳥と思われるが近くの電線にとまり激しく鳴いていた。	Aブロック
16	スズメ	千住5丁目・日の出町の民家の屋根裏(2ヶ所)	2ヶ所ともヒナのなき声がする。	Aブロック
16	ムクドリ	日の出町 民家の戸袋付近	ヒナのなき声がし、親鳥は外出中。	Aブロック
16	ヒバリ	河川敷 日の出緑地の隣のグランドの草地	親鳥からエサをもらい、親が飛んでも飛べず、近づいてもウォーキングで逃げる。鳴き声は高音で「ピィー、ピィー、ピィー」のみ。	Aブロック
19	ムクドリ	花畠3丁目 倉庫の雨樋	ヒナの声と、親鳥の出入りで確認。	Dブロック
24	カルガモ	池	雛を連れ見守ってる。(2組)	Eブロック
25	ムクドリ	民家の2階	戸袋の中でヒナの声、親のエサ運び。	Eブロック
25	スズメ	民家の3階	雨樋の中、ヒナの鳴き声、親鳥のエサ運び。	Eブロック
28	スズメ	民家の軒先・電柱トランス支柱・電器具ボックス	親鳥の領回の出入り。幼鳥の鳴き声。計18営巣。1件は3羽幼鳥連れ、給餌。	Dブロック
28	ムクドリ	民家(倉庫)の軒先・雨樋・戸袋	餌をくわえた親鳥を領回の出入り。幼鳥の鳴き声。計5営巣確認。	Dブロック
28	カルガモ	元淵江公園	かえって間もない幼鳥8匹を伴っているのを目撃。他所からきたとは思えない。	Dブロック

平成25年7月（観察記録）

観察日	種名	観察記録	観察者 (敬称略)
2	スズメ ムクドリ	・スズメとムクドリがあちこちでやたらと目についた。	Aブロック
2	ウミネコ オオヨシキリ ムクドリ スズメ ツバメ	・5月のモニタリングで確認した「コアジサシ」8羽は何処へ行ったのか、全く姿を見せてくれなかつた。 ・それにしてもカモメ類が少ない。ウミネコ1羽だけとは…。 ・オオヨシキリ1羽を確認。芦原の中に入ったが、巣の確認はできなかつた。 ・子連れのムクドリやスズメが目立つたが、公園全体の雑草が伸びており数を把握することが難しかつた。 ・ツバメ2羽が残土処理場の土を咬えて飛び去つて行つたが、この時期でも巣造りをしているのだろうか？	Eブロック
3		・咲き始めたくちなしの花の白がとてもきれいな朝でした。10種の89羽。とても暇な調査の2時間でした。	Eブロック
6	オナガ スズメ ムクドリ	・子育ても一段落したようで、あまりヒナの声も聞かれなかつた。巣立つた若鳥も、親鳥との区別が判りづらい程成長している。オナガ、スズメ、ムクドリなど、まだ飛翔力が弱いようで、飛び立ちや木々への移動がおぼつかない。	Eブロック
6	ツバメ	・この日は風が強く、河岸には釣り人が多かつた。7月ということもあり、野鳥の種類・個体数とも少なかつた。 ・一羽のツバメが、土手下にある道路（アスファルト舗装）の上空を低速で蛇行するように飛んでいた。道路の上に降りると、そこに落ちていた昆虫（黒い5mmほどの甲虫？）をくわえて飛び去つた。	Bブロック
6		・満潮に近い時間でサギ類の姿も少なかつた。 ・毎年思うが5月に公園や河原を占拠していたムクドリは何処に行つてしまうのだろう。	Cブロック
7	スズメ ヒヨドリ	・声を出さずに、木の根元や草むらから飛び立つたり、舞い降りたりするスズメが多かつた。日陰は涼風が気持ち良かったが、7時半過ぎ頃からは汗ばむくらいの暑さ。全体的に、声の割に姿が見えず。近くの家の屋敷林からのヒヨの声を聞きながら終了。	Eブロック
7	ハシブトガラス ハシボソガラス オナガ	・35℃の気温の予報のある「たなばた猛暑」を予感させられる朝です。いつもアンテナ上で見られるカラス達、桜の木の緑の葉のしげみの中にハシブトガラス3羽つつき合つてゐる。 ・又、稻荷神社の木立の中でハシボソガラスがつつき合つてゐる。巣は見あたりません。 ・この光景をよそにサーとオナガが飛びかう涼も感じさせられた朝でした。	Dブロック

平成25年7月（観察記録）

観察日	種名	観察記録	観察者 (敬称略)
7	シジュウカラ オナガ	<ul style="list-style-type: none"> 晴れ、とても暑かった（予報では気温32℃）が、風がそよそよふいていた。 シジュウカラはよく2羽一緒に行動していました。 オナガのヒナの様な声がしましたが定かではありません。 	Eブロック
9	シジュウカラ	<ul style="list-style-type: none"> 庭のジューン・ベリーにシジュウカラが1羽、何度も毛虫をくわえては飛んでいった。最後に毛虫の有無を確認でもするように木の上から下まで見終ると去って行った。すぐそばで一部始終を見ていても、気づく様子もないのは、子育てに夢中だったのか？ 	Cブロック
9		荒川左岸、国土交通省綾瀬排水機場近くのアシ原でオオヨシキリの鳴き声を聞く。	Aブロック
10	スズメ ムクドリ ハシブトガラス	<ul style="list-style-type: none"> 朝から暑い日です。街の中ではスズメとドバト以外はほとんど目につくところに出てきません。ようやく他の鳥を見たのは木が多くて涼しげな公園でした。 スズメ、ムクドリ、ハシブトガラスには巣立ったばかりの個体が見られ、親と同じように飛べるもの、まだ警戒心が薄いようです。 	Aブロック
10	スズメ ツバメ	<ul style="list-style-type: none"> 川の水多し。調査開始時にはスズメの声とツバメの声がまじって聞えた。 オオヨシキリは声なし。サギ類、バンなども見えず。カツブリはもう何年も調査時には見ていない。前回はカワセミが見られたが、今回は発見せず。種類、数とも大変低調な調査であった。マンション、建売住宅が急速に増えていて、さらに鳥はいなくなりそうだ。 	Cブロック
13	ウミネコ	<ul style="list-style-type: none"> 晴れて暑い朝です。中川の川面には、まったく鳥影はありません。サギ類は見る事ができませんでした。 土手の街灯の上に、ウミネコが暑いのでしょうか。口を開けてとまっています。 	Eブロック

平成25年7月（観察記録）

観察日	種名	観察記録	観察者 (敬称略)
13	スズメ ムクドリ オナガ	<ul style="list-style-type: none"> 通年より早いつけ明け、そして連日猛暑に。今朝も強い日差しが照り、早くも気温が30℃を超えてます。野鳥達も、この暑さに葉陰や草原の中で過ごしています。 個体数も少ないので、幼鳥が餌さがしに夢中です。特にスズメ、ムクドリが活発に動いています。 オナガの鳴声がするので観察を続けると、木の根元でヒナを発見。ヒナは頭頂がうぶ毛で黒と灰色のまだら模様で、尾羽は短かくムクドリのようです。親鳥が木々の間からヒナを呼んでいますが、ヒナは1m位しか飛べません。木の根元から羽ばたきながら木に登ってゆきますが、50cm位まで登ると落ちてしまいます。親鳥達がさかんに木々の間を鳴きながら行き来しますが、ヒナは親の元へ行けません。このヒナは巣立がちょっと早かったのかも知れません。無事に育ってくれればと思いながら調査コースを進みました。 調査後、このあたりの木を調べると、ラクウショウという木の根元から約4mの所に三ッ俣に分かれた枝を利用して小枝を組み、キジバトとほぼ同じ位の大きさの巣がありました。 	Cブロック
13	ツバメ スズメ オナガ ハシブトガラス ハシボソガラス	<ul style="list-style-type: none"> 1番にツバメが飛んできました。 スズメの雛は羽をふるわせ可愛いしぐさで親どりから食べ物をもらっていました。 可愛い幼鳥は（スズメ）多くいて草原で食べ物さがしに夢中のようにでした。 オナガは初めての観察。 7月に入り猛暑日以来、オオヨシキリ、コアジサシの姿が見えません。賑やかな声が聞えなくなり寂しくなりました。 新田の鹿浜橋近く、羽に模様のようなものがついてるカラスを見かけました。7/3、1羽、7/4、1羽。 	Bブロック
14	ムクドリ スズメ	<ul style="list-style-type: none"> この時期、荒川河川敷で実がついている木は何でしょうねえ？半分くらい赤く色づいた実をムクドリ若鳥が賢明に食べていました。桜の実のようにも見えますが、ソメイヨシノやオオシマザクラではないように思います。がんばって調べてみます。 スズメの巣立ち雛が親に食べ物をせがんでいました。親が与えたのはイラガの幼虫でした。食べるのかなあ？と見ていましたが、少し突つついでいましたが食べませんでした。 	Aブロック
14	ムクドリ	・ムクドリ：口を大きく開けて、毛はボサボサで体も大きく幼鳥だろうか。動きも素早くなくどうしたんだろう、という1羽に遭遇した。	Dブロック
15		・六木小学校前の幸栄工業にツバメの巣が有り、ヒナの写真があります。今はもう巣立った後のようでした。	Eブロック
16	ムクドリ ハクセキレイ オオヨシキリ	・ムクドリ、ハクセキレイ、オオヨシキリの幼鳥が居ました。オオヨシキリの幼鳥を見るのは初めて。得した気分でした。	Bブロック

平成25年7月（観察記録）

観察日	種名	観察記録	観察者 (敬称略)
17		・ミンミンゼミ初鳴きをきいた。	Eブロック
18	ツバメ ウミネコ カラス	・ツバメの幼鳥：電線に嘴の黄色いツバメが2羽止っていた。それでも、カラスが飛んでくると、身を交した。近くで繁殖したのでしょうか。 ・ハクセキレイ：河川でも見られなかった。 ・ウミネコ：30羽のウミネコ。グラウンドに降りて休憩。全て成鳥でした。	Aブロック
19	ダイサギ	・この季節やはり、鳥の種類も、数も少ないです ・引き潮で荒川の水位が低くダイサギが盛んにエサを漁っていました。かなり大きな個体で、かなりの確率でエサをゲットしていました。やはりエサ取りの上手な鳥は、大きく良く育つのでしょうか？	Bブロック
20		・キリギリスの鳴声（拘置所の水路の土手で）。セミの声、今年初めて聞いた。	Dブロック
21	ハクセキレイ ハシブトガラス	・路上にハクセキレイの夫婦が？いました。 ・子育ての時期がすぎたからでしょうか？カラスの数が少なくなっていました。1羽のハシブトガラスの羽は、ボロボロで弱っている様でした。	Dブロック
21	オナガ シジュウカラ	・真夏日の続く中、涼しい日を選んで行きました。オナガ、シジュウカラに、親鳥を追いかける賑やかな光景が見かけられましたが、幼鳥の判別はできませんでした。	Dブロック
24	ツバメ	・今朝は連日の暑さから幾分開放され若干涼し目であった。行程中、何故か不思議なことに一度もカラスに会うことが無かった。 ・ツバメは親鳥が2羽空中を飛遊してエサを探しており、幼鳥3羽が電線に止り親のエサ運び待って騒いでいた。	Bブロック
26		・毎年、河川敷の葦原ではオオヨシキリ、セッカの繁殖が見られるが、今夏は未確認？ ・河川敷の盛土部分のコアジサシ、コチドリ確認できず。 ・参考、湿度が高く曇り空。外気温29℃。	Bブロック
27	ツバメ	・帝京科学大前のシラカバは芽吹きを見たもの、葉がなく枯れた感じ。長年楽しんだ木だけに淋しい。 ・尾竹橋下に隅田川から水を引き池が完成。廻りを歩けるようになって良い散歩道になる。池には小魚が沢山泳いでいて楽しい。ただゴミが流れ込み気になる ・千住大橋駅のツバメの巣4ヶの内、一つは巣立を確認したが、その後見ていなかつたらすべて巣は空になっていた。	Aブロック
27	カワウ	・くもり空ながら蒸し暑い天候の中の調査であった。調査成果は、9種51個体の確認であった。 ・高空をカワウが北に向って編隊飛行して去っていった。	Dブロック

平成25年7月（観察記録）

観察日	種名	観察記録	観察者 (敬称略)
27		早朝とはいって、蒸し暑い夏で野鳥の活動はにぶく、姿や鳴声は少ない。	Dブロック
27	ムクドリ	<ul style="list-style-type: none"> 扇大橋上流は工事用の残土置き場になっていて、高く積み上げられていた。 草地にムクドリは多かったが、ヒバリ、コチドリの声はない。ネコが羽をひろげたムクドリをくわえ低木の下にかくれる。 あらかわ福祉体験広場は、解体され更地になっていた。 	Aブロック
27	ウミネコ	<ul style="list-style-type: none"> 夏の暑さも最盛期になったせいか野鳥の数も少ない様に思います。数多く見られたのはウミネコでした。やはり夏を代表する夏鳥ですね。 	Bブロック
28	スズメ ムクドリ	<ul style="list-style-type: none"> いつも毛長川歩道でスズメを多く見かけるが、今回はほとんど見られなかった。 ムクドリが公園以外の場所などで多く見られるようになった。 神社では、ムクドリの若鳥が4羽見かけることができた。 去年、白旗塚史跡公園でオナガの営巣があったが、今年は確認できなかった。 	Cブロック
31	ツバメ ムクドリ	<ul style="list-style-type: none"> ツバメがとても元気でした。 ムクドリの集団が同じところを何度も旋回。 	Aブロック

平成25年7月(繁殖行動確認)

観察日	種名	確認場所	繁殖行動と判断した根拠	観察者 (敬称略)
2	ツバメ	中川右岸 氷川神社近くの電線上	2羽の幼鳥が寄添って止まっており、そこへ親鳥2羽が代る代る餌を運んでいた。	Eブロック
3	ツバメ	川	長い枯草をくわえて巣材に運ぶ	Eブロック
7	カルガモ	西沼公園	親子と判る大きさのひと組(親1、子3)が、一ヶ所に固まって居た。	Eブロック
7	ハシボソガラス	東和地区	1羽幼鳥、口の中赤色で弱々しい声	Eブロック
7	スズメ	辰沼二丁目公園	親スズメが幼鳥にエサを与えていた。	Eブロック
9	カルガモ	見沼代親水公園	幼鳥4羽	Cブロック
9	キジバト	見沼代親水公園	幼鳥3羽	Cブロック
13	ツバメ	防災公園の向 住宅の軒下	ツバメの巣を見つけました。ヒナは確認できませんでしたが、親が来ていたので繁殖しているかも知れません。	Eブロック
13	オナガ	舍人公園B地区 お花見広場西側	ヒナと近くの木に巣	Cブロック
13	スズメ	熊の木	親鳥から食べ物をもらっていました。 羽はふくらんで時々ふるわせていました。	Bブロック
14	ムクドリ	荒川河川敷 千住桜木2	ムクドリの4割は幼鳥か今年生まれの若鳥でした。	Aブロック
14	スズメ	全体	スズメの幼鳥は見つけにくいですが、ちらほら見られました。	Aブロック
14	ハシボソガラス	荒川河川敷	鉄塔に2羽いました。近くに親が2羽いて、見える範囲で遊んでいました。	Aブロック
14	ハシブトガラス	千住桜木2	幼鳥が一羽単独で鉄塔に止まっていました。	Aブロック
14	ツバメ	綾瀬川右岸、 花畠7・8丁目	2回も放置された並んだ2つの巣のうち1つにヒナが育っていた。少し身を乗り出しそうにしているほど元気だった。5羽確認。	Dブロック
16	ムクドリ	荒川河川敷左岸 千住新橋～東武鉄橋南	幼鳥確認	Bブロック

平成25年7月(繁殖行動確認)

観察日	種名	確認場所	繁殖行動と判断した根拠	観察者 (敬称略)
16	ハクセキレイ	荒川河川敷左岸 千住新橋～東武鉄橋南	幼鳥確認	Bブロック
16	オオヨシキリ	荒川河川敷左岸 千住新橋～東武鉄橋南	幼鳥確認	Bブロック
17	カルガモ	東綾瀬公園	最初にかえった5羽は親くらいに成長しても親鳥に付いて行動している。	Eブロック
17	カルガモ	東綾瀬公園	最後5月21日にかえったカルガモは1羽だけで行動している“健気”	Eブロック
18	ツバメ	電線	嘴の黄色いツバメが2羽止っていた。	Aブロック
20	スズメ	柱上トランスの支柱	巣材の運び込み。幼鳥のえさねだりの声とエサ運び。	Dブロック
20	ツバメ	マンションの入口	幼鳥確認。幼鳥のえさねだりの声とエサ運び。	Dブロック
20	ツバメ	五反野駅 スピーカーの上	幼鳥確認。幼鳥のえさねだりの声とエサ運び。	Dブロック
20	カルガモ	拘置所の堀	幼鳥確認。	Dブロック
20	カルガモ	堀の上流	2羽の幼鳥確認。	Dブロック
20	スズメ	上の公園付近の住宅	ダクト(換気用)にスズメ(2羽)が出入りし、ヒナの声が聞えた。	Eブロック
20	ハクセキレイ	しょうぶ沼公園	2羽の幼鳥の確認。	Eブロック
23	スズメ	公園隣接 町中電柱変圧器支柱	ヒナ鳥の声	Dブロック
23	ムクドリ	公園	親鳥を追って餌をねだる姿確認	Dブロック
24	ツバメ	電線上	3羽の幼鳥の確認。	Bブロック

平成25年9月（観察記録）

観察日	種名	観察記録	観察者 (敬称略)
6	カルガモ	<ul style="list-style-type: none"> 虫の声しきり。秋の気配あり。 カルガモは6羽が若いので、前回調査で見た幼鳥ではないか？ 以前、よく見かけたヒヨドリが最近見えないのはなぜか。 	Cブロック
7	イソシギ カワセミ ヒヨドリ	<ul style="list-style-type: none"> 天候くもり。気温25度位。歩き始めは涼しく感じたが、歩いている内に汗が出てきました。蒸し暑い朝です。住宅地は静かでスズメの声もしません。 荒川はあいにくの満潮で、水面から頭を出している棒杭の上にイソシギが止まっていました。 西新井橋上流の近くのあし原からカワセミの声がして、飛んでいく姿を久しぶりに確認しました。 桜木二丁目の都営住宅の公園で、あまり聞いたことのない鳴き声を聞き、見にくいクスノキの中を探っていると、2羽のヒヨドリ幼羽幼鳥を見つけました。まだ巣立ちして間もないヒヨドリを見るのは久しぶりです。 （鳥ではありませんが、河川敷でセンニンソウ（キンポウゲ科）の花を見つけました。セイタカアワダチソウなどの藪に負けじとツルを伸ばし白い花を咲かせて見事でした。これを見ただけでも、今日観察で出かけてよかったです。） 	Aブロック
7	ハシブトガラス ハシボソガラス	<ul style="list-style-type: none"> いつも、たくさんいるハシブトガラス、ハシボソガラスの数が先月にくらべ、ずっと、少なくなっていました。子育ての時期が終りエサの取り方に変化があったのでしょうか？ 	Dブロック
9	ムクドリ	<ul style="list-style-type: none"> ひつじ雲が固まったような曇り空、薄日有り。涼。カツラの木の紅葉始まり、桜の木も紅葉が目立つ。コオロギとカネタタキの声で、秋の気配強まる。 昨晩の雨で、小鳥が餌探しに入れそうもないくらい、草むらが露でいっぱい。どこかで待っているのか、別の所に行っているのか、全体に姿少なく早めに終わった。 終わり頃のムクドリ26羽でやっと100超え。 ドバトの群れ多く、4箇所で81羽。 	Eブロック
10	スズメ ツバメ	<ul style="list-style-type: none"> 今日は、現れた鳥の種類が11種と少なかった。 スズメが荒川河川敷の草地や柳の木に50～100羽（以上）で群れていた。一方、市街地ではあまり見られなかった。 ツバメの若鳥は渡りが遅いのだろうか。数羽が電線にとまっていた。 	Aブロック
10	ダイサギ ヒヨドリ ムクドリ スズメ ハシブトガラス	<ul style="list-style-type: none"> ようやく最高気温が30℃を下回る日が出てきたので調査開始です。 古綾瀬川をのぞき込むとダイサギが何度も水面に長い首を突き出していました。魚が獲れたかどうかは確認できませんでした。 シティスープにいたヒヨドリは今年生まれの若鳥のようです。 また、関屋公園のムクドリの群れも半分は若鳥です。 スズメにも若鳥が含まれていると思いますが、もう区別はつきませんでした。 カラスがほとんど見られませんでした。唯一のハシブトガラスは千住河原町のマンションでごみ袋をはさんで管理人とにらみ合っていました。追っても追っても5メートルくらいの距離を保って離れません。もう、管理人さんは収集車が来るまで離れられません。傍観者の立場ではなかなかおもしろい見もので、つい立ち止まって見物してしまいました。 	Aブロック

平成25年9月（観察記録）

観察日	種名	観察記録	観察者 (敬称略)
12	スズメ	・何もいらない、鳥の声もない、静かすぎる…と思った次の瞬間、スズメの群が150～160羽いたと思います。この場所でこれだけの群を見たのは初めて、なんでこんなに集まっていたのでしょうか？ (3ヶ月後にも居ましたよ。)	Bブロック
14	ハシボソガラス ハシブトガラス スズメ	・今夏も猛暑。6月～7月より8月～9月の方が暑く感じた。 ・ハシボソガラスもハシブトガラスも羽はボロボロ。口を開けてあえいでいる様。よくガンバッタなあと思った。 ・スズメが砂あびをしている。櫻の根が地面に出て、けずれた土のプールで代わり番に。	Dブロック
14	ムクドリ スズメ シジュウカラ ツバメ イワツバメ カルガモ ハシビロガモ	・まだ残暑厳しい朝。草露をかきわけながら調査開始。 ・草刈の行なわれた所には、ムクドリ、スズメがまとまって餌を取る姿が。 ・シジュウカラは、今朝は木の高い所にいることが多く感じられた。 ・ツバメ、イワツバメを確認したが、びっくりしたのは大池のカルガモに交ってハシビロガモが1羽いたこと。自分の目を疑ったが、確かにハシビロガモのメスにまちがいない。冬鳥がこんな早い時期に飛来しているとは思わなかつた。 ・今朝は13種と少ない調査でした。	Cブロック
14	オナガ	・台風18号の予報が流れています。鳥達への影響はと心配です。街路樹のアオギリは青々と元気な大きな葉にくらべ、ハナミズキの枯れかかった葉が対象的です。とにかく鳥の数、種類共に少ない静かな朝です。 ・この様な中、稻荷神社の境内で鳴きながらの乱舞のオナガ達を見る事が出来、ホッとしました。	Dブロック
14	スズメ ムクドリ コサギ アオサギ チョウゲンボウ	・草原の中から虫たちの美しい声で大合唱が始まり、幸せを感じながらの調査でした。 ・種類は少なかつたですが、スズメ、ムクドリ、コサギは多くいました。 ・アオサギは初めての観察です。 ・チョウゲンボウは2回見かけました。	Bブロック
16		・台風（18号）一過、快晴にめぐまれ、探鳥日和であるものの野鳥が見られず。 ・夏になると毎年見られる“オオヨシキリ” “セッカ”が、今年は見られず？	Bブロック
17	カルガモ	・ビオトープ公園のため池の端にカルガモがいた。水を含んでは胸毛をくちばしで毛づくろいをするように動かし、何度もそれをくり返していた。	Dブロック
18	スズメ	・千寿桜堤中学校前の土手でスズメ48羽、餌をついばんでいた。	Aブロック

平成25年9月（観察記録）

観察日	種名	観察記録	観察者 (敬称略)
18	ムクドリ コムクドリ	・宮城町内の宮城公園、江南公園にムクドリの大群が飛来。日暮れ時になると、何処からともなく100～200羽の群れが、プラタナスの木や近くの電線に止まり、やがて壠入りをする。総計1000羽前後と思われる。群れの中にはコムクドリが数十羽交ざっていた。この壠入りは9月中旬から数日続いた。	Aブロック
19	イソヒヨドリ スズメ	・ビジャーセンターのまわりを2羽（♂♀）のイソヒヨドリが飛びまわっていた。久しぶりです。 ・荒川日ノ出緑地近くのヨシ原で、群れていたスズメの中に1羽の白化したスズメがいた。 ・9/16、アジサシ（40）、ウミネコ（200）、カルガモ（15）、ユリカモメ（1）、が台風一過の強風吹く中、荒川河川敷の草原に降り立っていた。	Aブロック
19	ムクドリ	・出るのが遅くなったせいもあり、観察種は少なかった。 ・花畑団地の解体跡地（囲いの柵の中）から、無数のムクドリが飛び立った。「すみか」になっているのか…今、この地区では、こうした囲われた場所が何ヶ所もあり、観察場所が少なくなった。	Dブロック
20	カワセミ オナガ ムクドリ モズ	・今回は少し下流に寄ったところで、上流に向かうカワセミが見られた。 ・オナガは4羽が川の上を横切って飛んでいった。 ・ムクドリの群れが東に向かっていった。 ・モズを下流のところで見かけた。いよいよモズの高鳴きのシーズンである。	Cブロック
20	ハクセキレイ	・台風の後で荒川の水はまだ濁りが残っていて、水鳥はほとんど見えず、全体に種類も数もいつもより少ない感じです。 ・理由は分かりませんが、ハクセキレイがドバトを追いかけていたのが印象に残っています。	Bブロック
21	スズメ シジュウカラ	・春に白い花を咲かせたヤマボウシはオレンジの実になってた。 ・スズメ、シジュウカラの幼鳥が目立った。 ・実をつけた草むらから一斉にスズメが飛び立ち圧倒された。	Eブロック
22		・7月の調査にもまして、鳥の種類も数も少ない。これから渡りの季節、野鳥が帰って来るのを願っています。	Eブロック
22	モズ	・雑草が生い茂っていて見通しが悪く、荒川ではボートが行き来していて、野鳥の種類、個体数とも少なかった。 ・扇大橋と西新井橋の中間付近にある木の枝先で、モズの雄がキーキーと鳴きながらわぱり宣言をしていた。	Bブロック
23		・理由は不明だが全般的に、鳥の種類、数が非常に少なかった。	Bブロック

平成25年9月（観察記録）

観察日	種名	観察記録	観察者 (敬称略)
24	コゲラ	<ul style="list-style-type: none"> すっかり秋めき木の葉も減り観察しやすくなつた。しかし、鳥の種類、数が少ない結果となつた。 しょうぶ沼公園でコゲラを確認した。 そばにコガラ（？）と思われる鳥を数羽見たが「野鳥ハンドブック」によると平地には下りて来ないとある。確信がないので報告から省いた。 	Eブロック
28	スズメ アオサギ ダイサギ カルガモ ハクセキレイ ウミネコ チョウゲンボウ	<ul style="list-style-type: none"> 雲一つない青空。気温も肌に冷たく気持ちよい調査日。気分良く出発。しかし、スズメの声さえない。 桜木町の都営住宅あたりからスズメを見る。 スーパー堤防に上るとアオサギ、ダイサギが護岸の下に、カルガモが川の中央で水浴び。 久し振りにハクセキレイもウミネコも鳴きながら上流へ。 渡りの時季、コサメビタキでも居ないかと木の上を気をつけて見るが気配なし。 スーパー堤防から護岸に下りて行くと、こちらに向って来る鳥、チョウゲンボウとはち合せ！！直角に向きを変え、川の方へ。後を追うが姿はなかった。 	Aブロック
28		<ul style="list-style-type: none"> 快晴でごしやすい日でした。トンボも結構、飛んでいました。 今回は、今まで居た場所にオナガの群れが居なくなつたり、今まで何も居なかつた場所に沢山野鳥が集まつたりして、不思議に思いました。 あいかわらず、町の音は鳥の声を聞くにはうるさいと思いました。 	Eブロック
28	スズメ	<ul style="list-style-type: none"> 猛暑であったこの夏も、彼岸を過ぎて一転秋の気候になったためなのか、街中のスズメ達も数が少なく感じられた。 まだ渡り鳥の姿は見当らなかつた。 	Bブロック
28	ムクドリ ワカケホンセイ インコ	<ul style="list-style-type: none"> 中川沿いのゴルフの練習場の鉄塔のムクドリの群に、ワカケホンセイインコが1羽まじっていました。 	Eブロック
28	コゲラ	<ul style="list-style-type: none"> 台風が過ぎた後、昨日に続き今日も爽やかな良い天気であるが、小鳥たちはどこへ行つてしまつたのか余り姿が見えないのが残念。 元淵江公園でコゲラがケヤキの幹をつついているのを久々にじっくりと見ることができたのがうれしかつた。 	Dブロック
28		<ul style="list-style-type: none"> ヒガンバナが咲く頃に、堺川にはコムクドリの群が来るはずなつたが、今年はまだ来ていません。 	Eブロック
29	カワセミ スズメ ムクドリ ワカケホンセイ インコ	<ul style="list-style-type: none"> 今回初めて、毛長川でカワセミを見つけました。とても新鮮な感じがしました。 スズメやムクドリの数が少なくなつたような感じがしました。 随分前から、神社にワカケホンセイインコがいると聞いていましたが、今回初めて姿を確認できました。 	Cブロック

平成25年9月（観察記録）

観察日	種名	観察記録	観察者 (敬称略)
29		<ul style="list-style-type: none"> ・今日は、いつもより鳥が少なかったです。 ・今日は、グラウンドで野球、サッカーをしているチームが大変多かったので、その影響があると思います。 	Aブロック
29	スズメ	<ul style="list-style-type: none"> ・例年どおり、種類、個体数ともに少なかった。 ・スズメが中川、中川公園ともに群れていた。中川公園では残土処理場の水溜りで、10羽余りが気持ち良さそうに水浴びしていた。 	Eブロック
29	スズメ	<ul style="list-style-type: none"> ・夏が日ごと後ずさりする中、冬鳥はどこで道草しているのか、まだ来ず。 ・おしゃべりなスズメの鳴き声も静か。おだやかな秋日和でした。 	Dブロック
29		<ul style="list-style-type: none"> ・秋らしくなってからと、月末に調査日を設定したが、確認種数は5種と最小レベルに終った。サクラやケヤキは葉が色付いてきた。 	Dブロック
29	スズメ	<ul style="list-style-type: none"> ・圧倒的にスズメが数と場所を公園以外で支配していた。 ・替わりにムクドリを1羽も見ることができなかった。 	Cブロック
30	ムクドリ	<ul style="list-style-type: none"> ・8種100羽足らずで、さびしい調査でした。 ・住みついていたと思っていたイソシギが姿を見せなくなりました。 ・夕方、谷中トンネルを抜けて川端第一公園近く、ムクドリが電線にびっしり止っている。 	Eブロック
30	スズメ イソシギ	<ul style="list-style-type: none"> ・あの暑かった夏もすっかり終わりようやく秋らしくなって来ました。 ・野鳥たちも夏から秋、冬へと移って来ることと思います。 ・これまで暑い時期にはみられなかったスズメの大群を2群見ました。この時期にこのエリアでは珍しいことです。 ・また、シギも数多く見ることができました。 	Bブロック

平成25年9月(繁殖行動確認)

観察日	種名	確認場所	繁殖行動と判断した根拠	観察者 (敬称略)
7	ヒヨドリ	千住桜木2丁目 都住の公園のクスノキ	2羽のヒヨドリ幼羽幼鳥を見つけました。	Aブロック
10	ツバメ	新田地区の電線	若鳥は渡りが遅いのだろうか。数羽が電線にとまっていた。	Aブロック
10	ヒヨドリ	シティヌーブ	今年生まれの若鳥のようです。	Aブロック
10	ムクドリ	関屋公園	群れも半分は若鳥です。	Aブロック
21	スズメ	東綾瀬公園	幼鳥が目立った。	Eブロック
21	シジュウカラ	東綾瀬公園	幼鳥が目立った。	Eブロック
22	オナガ	大谷田公園	羽根が生え揃っていない巣立ったばかりの幼鳥	Eブロック
22	ムクドリ	大谷田公園	同上	Eブロック
22	ヒヨドリ	大谷田公園	同上	Eブロック

平成25年11月（観察記録）

観察日	種名	観察記録	観察者 (敬称略)
2	ヒヨドリ オナガ カルガモ	<ul style="list-style-type: none"> エノキの実をヒヨドリ、オナガが食べている。まだ、柿は渋いのか食べている姿を見ない。 今朝は少し寒くなったのか、オナガ、ヒヨドリ、カルガモの姿が特に目につきました。 鳥の動きが、いつになく、騒々しい朝でした。 	Dブロック
5	セグロカモメ	<ul style="list-style-type: none"> 例年11月の調査で観察されている、ユリカモメ、ウミネコがいす、昨年から観察されるようになった、セグロカモメが今年もいた。 荒川右岸、鹿浜橋下流の「新田わくわく水辺広場」の池のまわりのアシなどの背の高い草が、昨年に比べ広く刈りとられていた。鳥にとって住みづらい環境になっているようだ。 	Aブロック
8	ジョウビタキ	<ul style="list-style-type: none"> ジョウビタキは幼鳥らしく、すごく小さい3羽が電線に止った。 	Cブロック
8	チョウゲンボウ	<ul style="list-style-type: none"> 秋晴れの野鳥観測日和でした。 扇大橋の上流50m位のところで、チョウゲンボウ2羽が少し距離をおいて仲良く？飛んでいて、高速道路を越えて北東に飛び去りました。帰路に同じ場所近くの枯れ木に1羽止まっていましたが、同じ個体と考え、数には入れていません 	Bブロック
9	ヒヨドリ オナガ	<ul style="list-style-type: none"> くもり。今月は全体的に鳥が多かったです。特にヒヨドリとオナガ。 今回はメジロは会えませんでした。残念。 	Eブロック
9		<ul style="list-style-type: none"> 荒川河川敷の担当地区が現在緩傾斜堤防工事を行っており、河川敷のアシ原が半分ほどに削られていきました。千住桜木2丁目アパート内も一部コンクリート工事が行われていて、いつもの調査コースが使えませんでした。そのため観察経路の短縮を余儀なくされました。 家に帰って調査用紙を記入していて、カラス類を見ていないことに気が付きました。朝早くにもかかわらず、トラックや工事車両が頻繁に行き交い、騒々しい環境を嫌ったのだと思います。何ヵ所か遠回りをしなくてはならずくたびれました。 	Aブロック
9	ハシブトガラス ハシボソガラス	<ul style="list-style-type: none"> 公園の桜、ケヤキの葉が紅葉し、他の草木も色付き始めました。 モズの高鳴も聞え、秋から冬へと季節のうつり変る時節です。 特にめずらしい野鳥に会えなかったものの調査中にバードサンクチュアリの上空を集団のカラスが鳴きながら右往左往しています。その数50羽以上いたでしょうか。ドバトも旋回しています。きっと猛禽類が入っていると思われますが、確認は出来ません。 大池のヨシやガマなど、台風の影響で生殖位置が変ってしまいました。冬の水鳥が来始めましたが、これから来る水鳥達に影響がなければいいのですが。 一日も早くバードサンクチュアリの開園を楽しみにしている調査日の私です。 	Cブロック

平成25年11月（観察記録）

観察日	種名	観察記録	観察者 (敬称略)
9	スズメ ムクドリ ヒヨドリ カワウ イソシギ	<ul style="list-style-type: none"> 秋も深まり少しひんやりとした朝、時々きれいな虫の声が聞えてきました。 スズメ、ムクドリ、ヒヨドリ、カワウは多くいました。 イソシギは初めて見かけました。 	Bブロック
11	ムクドリ	<ul style="list-style-type: none"> 桜の葉は紅葉が大分進み、櫻も今年は普段より葉が赤く感じた。ビワの蕾が大分目立ってきた。暗いうちに雨がぱらついたようで地面が濡れていた。雲が多く薄暗いうちに出かけた。寒いので、数が少ないかと思ったが、声の数はかなり多い感じで、姿が木の葉の陰に隠れて見えにくいのが少し残念。ネズミモチ・ピラカンサ・みかん・柿などのある所にムクドリが集まりだしたようだ。 	Eブロック
13	スズメ ヒヨドリ カワラヒワ カワウ	<ul style="list-style-type: none"> 寒い朝で川風も冷たい調査日でしたが、快晴で太陽が高くなると日向はとても暖かでした。 調査開始の頃は、ほとんどスズメの声も聞えませんでしたが、暖かくなるにつれて電線にとまって鳴いている丸々したスズメが見られるようになりました。 ヒヨドリが騒がしく鳴き交わしながら動き始めたのも暖かくなつてからでした。 未来大学の近くでは、カワラヒワの声を聞きました。 カワウはすべて隅田川を上流に向かって飛んでいきました。 	Aブロック
16	ジョウビタキ	<ul style="list-style-type: none"> アケビの木に野ブドウが巻きつきルリ色の実がついておりました。ジョウビタキの雄がついばんで居りました。あまり可愛かったのでしばらく見とれておりました。 	Eブロック
16	ハシボソガラス チョウゲンボウ	<ul style="list-style-type: none"> ゴルフ練習場の隣の野球場で、ハシボソガラスⒶが乾燥したうどんのようなものをくわえていた。もう一羽のハシボソガラスⒷが近づいたところ、Ⓐは飛び立ち、Ⓑが追いかけて高速道路方面に飛んでいつて見えなくなった。しばらくして、うどん?をくわえたハシボソガラスが野球場に戻つて来て、地面に置いて飛び去った。もう一羽のハシボソガラスが飛んで来て、それを食べた。戻ってきたハシボソガラスは、どちらがⒶかⒷかはわからなかった。 舎人ライナーの、荒川を渡るところの線路の横に板状に張り出した部分があるが、そこにチョウゲンボウのつがいが止まっていた。近くを飛び回っているようなので、このあたりに居ついているのかも知れない。 	Bブロック
17	ムクドリ オナガ ヒヨドリ ジョウビタキ	<ul style="list-style-type: none"> 紅葉の桜の木に留まっているムクドリ達やひらひら舞っているオナガを追い立てるように飛び回るヒヨドリの元気さが目立った朝でした。 今年もジョウビタキが来てくれました。 	Dブロック
17	メジロ ジョウビタキ	<ul style="list-style-type: none"> 寒い日が続いた11月では、比較的、暖かな日でしたが…メジロ、ジョウビタキなどの出現で、冬に向つてるのが実感されました。 	Dブロック

平成25年11月（観察記録）

観察日	種名	観察記録	観察者 (敬称略)
17	ジョウビタキ ツグミ ヒドリガモ	・ジョウビタキやツグミの声を聞くようになりました。 ・中川には今年もヒドリガモが来ています。 ・ウグイスの地鳴きも聞いていますが、調査日には出会えませんでした。これからは、鳥見の楽しい季節になります。	Eブロック
17		・天気は快晴で気温は15°C。“探鳥日和” ・以前より野鳥が見られなくなつたと感じる。	Bブロック
17		・東電のグランドに工事の重機が入り、背丈程に伸びていた草が綺麗に刈られていた。去年は草の上に止るモズが見られたが、今日は何もいなかつた。ツグミもまだ飛来せず、この次の調査では見られると思つたが、工事が始る立看板があり帝京科学大学の建設工事が始るようだ。ここも、又、調査の対象からはずれる運命。鳥も住みづらい場所になつて行く。	Aブロック
17		・ハシボソガラスはどこかにお出掛け。 ・団地の公園を整備し木の数を少なくしたら、コゲラの声も聞えなくなりました。	Eブロック
20	ヒヨドリ	・紅葉した櫻の葉が散る中、冬ザクラが咲いていた。 ・鳴き叫ぶヒヨドリが多かった。	Eブロック
21	ヒドリガモ コガモ カルガモ	・空気は澄み明るい青空、桜橋から真白な富士がくっきりと見えた。美しいながめ。 ・川面は水鳥の姿はほとんどなく、わずかにヒドリガモが4羽。 ・ビオトープ公園のため池にコガモが1羽、あとは留鳥のカルガモが。 ・綾瀬川の土手の1mを越すコンクリートの壁が視界をさえぎつてるので観察しづらくなつてしまつた。	Dブロック
21	ヒドリガモ	・対岸に80羽ほどのヒドリガモの群れ。 ・ハヤブサ→11/5、ビジターセンターに姿を現したが、その後見かけない。	Aブロック
22	モズ	・久し振りにモズ雌1羽に会う（荒川右岸） ・昨年に続き堤防工事が、26年3月14日まであり、ヒドリガモやツグミの飛来があやぶまれる。（堀切橋～千寿桜堤中学前）	Aブロック
23	オオタカ ハシボソガラス	小春日和の好天の中の調査で確認種数は10と多くはなかつたが、上空でオオタカとカラス5羽、うち2羽が交互にオオタカに体当りしていた。久しぶりにオオタカとカラスの戦いを見た。	Dブロック
23		・調査では7種が確認されました。自宅近くにはジュウビタキが、しばしば飛来しますが、調査では確認されず残念でした。	Dブロック
24	ヒドリガモ カワウ	・中川にヒドリガモの群が見られ冬鳥の季節を感じました。 ・カワウが川下から200羽以上飛来して目の前に着水し、全員でノドをふくらませて捕食するのが見られました。 ・全体に鳥の数が多かったです。	Eブロック

平成25年11月（観察記録）

観察日	種名	観察記録	観察者 (敬称略)
24	シジュウカラ スズメ メジロ	<ul style="list-style-type: none"> ・体調をくずし、3回ほど安藤さんに調査をお願いしました。自分のフィールドを全部歩いたのは半年ぶりです。途中、2回ほど休みましたがなんとか無事に済ませました。 ・ジュウビタキの声はたまに聞くのですが、フィールドの姿はまだ見ていません。 ・モズも家の前の電線にとまり、シジュウカラ、スズメ、メジロたちを脅かしていますが、今日は見られませんでした。 	Eブロック
24	ジョウビタキ	<ul style="list-style-type: none"> ・神社にて、ジョウビタキが観察されました。冬になると良く見られるそうです。全体に鳥の数が少なくなった様です。 	Dブロック
24		<ul style="list-style-type: none"> ・都市農は収穫祭で賑っていたので、改めて一週間後の閑散時に行つて見たが、意外と姿は少なかった。 	Cブロック
25	コガモ アオサギ コサギ ダイサギ カワセミ オナガガモ カルガモ ユリカモメ	<ul style="list-style-type: none"> ・くもり、引き潮だが毛長川の水量多し。 ・11月半ば過ぎには例年コガモがやってくる。いつ来たかは不明。この日は初めてくらいに多種の鳥がみられた。姿を見せなかつたのは、カツブリ、オナガ、モズ、ゴイサギくらい。 ・サギも久しぶりに3種が登場。 ・カワセミは毛長川と見沼代用水の合流点の先で見かけたが、あつという間にいなくなつた。そこに太い土管があった。そこに隠れたのだろうか。 ・この日初めてオナガガモを見た。ありふれたオナガガモやヒドリガモも毛長川の調査地域では見られない。 ・コガモは、川の上を上流に向かって何羽も飛んでいくので合計数が出しにくい。毎年20羽～30羽がやってくる。重複して数えたと思われる分を調整して示した。 ・カルガモは今回最高の数だった。次々と登場し、多い所では16羽がまとまって泳いだり餌を食べていた。最後に見沼代親水公園（モノレールの北側）を調査すると18羽が2つのグループをつくって泳いでいた。毛長川にいた個体が飛んできたとも考えられるが、そのまま示した。従来はせいぜい10羽、この日は52羽。 ・かつては数十羽も飛び回っていたユリカモメだが、この日は最後に毛長川の下流で7羽まとめて見られた。上流に飛んでいったユリカモメも戻って一緒になつて飛び回っていた。 ・現在、毛長川の調査地域では、アシを刈り取り、護岸の内側に積もつた土を除いている。鳥たちが雨風をしのいだり、昼間、隠れたりする場所がなくなると野鳥はいなくなつてしまいそうだ。 	Cブロック
25	ヒヨドリ	<ul style="list-style-type: none"> ・今回はヒヨドリが突出して多かった。鳴き声からするともっと多くのものと思う。トンボをくわえているもの、食しているものが見られた。 	Eブロック
25	チョウゲンボウ	<ul style="list-style-type: none"> ・ひさしぶりにチョウゲンボウにお目にかかりました。それも、10メートルぐらい先のDグランドのネットの支柱に止まっていたのです。いつも、この場所にはカラスが止まっているのですが、今日はラッキーでした。近づくと頭上を上流に飛び去りました。本当にラッキーな日でした。 	Bブロック

平成25年11月（観察記録）

観察日	種名	観察記録	観察者 (敬称略)
27	モズ	<ul style="list-style-type: none"> オニグルミの落葉を踏む音が静かに聞こえる。鳥の声はない。今までこんな静かなことはなかった。枝の隙間から青空がみえる。が、扇大橋の上流付近から一変した。堤防強化工事のため土を積んだトラックが次々ときて逃げ場がない。反対車線も同じ。道路はめぐれ転びそうになる。来年の3月まで工事は続く。 今回は鳥数は少なく、ツグミ、タヒバリもいなかったが、いつものモズの声と姿は観察できた。 	Aブロック
27	ジョウビタキ	<ul style="list-style-type: none"> 朝のうち低かった気温も日が昇るにつれて上り、晴天となり、ジョウビタキをはじめ、前回より多くの種類・個体を観察できた。 元淵江公園の上空で何の鳥か？ ワシ・タカ類と思われる。カラスより小さな尾羽のきれいな鳥が2羽のカラスとバトルをしているのを見かけた。 	Dブロック
28		<ul style="list-style-type: none"> 初冬のやわらかな陽射しの朝であったが、気候が安定していないこともあり街中の野鳥は少ない。この地域は住宅や家内工業的な小工場等の密集した中の社寺等が拠点であって、7・9月同様に珍しい野鳥との遭遇はなかった。 	Bブロック
30	ゴイサギ ヒヨドリ メジロ	<ul style="list-style-type: none"> カモメ類（ユリカモメ、セグロカモメ）の遡上がりが年々少なくなっているようです。 ゴイサギが久し振りで見ることができました。 ヒヨドリが目立つ程度で、種類も数も少なかった。 メジロが8羽一緒に行動していたのは、ファミリーなのか？ 	Eブロック
30	カルガモ ムクドリ スズメ ヒヨドリ	<ul style="list-style-type: none"> 毛長川では大きな重機が川の中に入っていましたが、カルガモなどが見られるようになりました。 前回と同じく、ムクドリやスズメの数が少ないように思いました。 ヒヨドリが一番元気な姿を見せてくれるようになりました。 	Cブロック
30	ユリカモメ	<ul style="list-style-type: none"> 西新井橋～千住新橋、荒川右岸は来年3月まで大規模河川敷工事をやつていて鳥が集まりづらくなっています。 今日は荒川の水量が少なく、一部波打ちぎわの川底があらわになつて干渉のようになっているところがあり、ユリカモメが集まっていた。 	Aブロック

平成26年1月（観察記録）

観察日	種名	観察記録	観察者 (敬称略)
5	ヒヨドリ ツグミ	・ものすごくさむい日でした。晴れ。 ・ヒヨドリがやたら多く、オナガは見ませんでした。 ・ツグミが見れてよかったです。	Eブロック
6	ムクドリ ユリカモメ メジロ	・街の中に急にムクドリが目立ち始めた。あまり鳴き声は聞かないがスズメよりずっと大きいので存在感がある。 ・川にはユリカモメが群れで浮いていて冬になったことを感じた。 ・千住仲町公園ではシュロの木にメジロが飛び込んで、双眼鏡で確認した途端にすぐ飛び去った。一瞬の出会いだった。	Aブロック
6	ユリカモメ ヒドリガモ	・今日は寒く、池も凍っていた。本日は20種観察された。 ・隅田川でユリカモメ（39羽）とヒドリガモ（70羽）の群がみられた。	Aブロック
8	ヒヨドリ	・ヒヨドリの5羽は同じ木に止って一緒に行動していたが若かったです。	Cブロック
11	モズ	・冷え込みが厳しく、河川敷の芝生には霜柱が立っており、水たまりは凍っていた。 ・扇大橋～西新井橋の中間位にある草地にモズの雄がいた。平成24年度の11月及び1月の調査時にも、ほぼ同じ場所でモズの雄を観察しているため、同じ個体かもしれない。	Bブロック
11	ヒヨドリ スズメ カワラヒワ オオタカ	・この冬一番の冷え込んだ朝。防寒衣に身を包み、調査開始。ドバトも体を丸くして縮こまっている。朝日がななめに差し込み始めるが、暖かさを感じない。 ・ヒヨドリの往来が相い変らず激しい。 ・スズメとカワラヒワが混じりあって、霜のおりた枯草の原に、集団で餌を取っている。数をするのにちょっと苦労する。 この時期、苦労するのがもう一つ、カモ類の数をすることである。大池も一部凍っている。カモ類がヨシ、ガマの中に身を寄せているのと、餌付けの所へと動きまわると、2つのグループに別れているように思えた。 ・調査の終り頃、キャンプ場上空を、ドバト、カラスが騒ぎ出すと、オオタカが数羽のカラスと争いながら、遠くへ消えてゆきました。	Cブロック
11		・小鳥たちは何度か目にしましたが、すぐに草の中に入ってしまい、確認することはできませんでした。	Bブロック
12	ヒヨドリ スズメ オナガ ツグミ メジロ ジョウビタキ	・元気に飛びかうヒヨドリに対して、ひそやかなスズメ達が対照的な朝です。 ・今年も干し柿もどきの実をつけた柿の木にオナガが群っていました。 ・毎年見られるツグミ、メジロ、ジョウビタキも今日も見られて幸せです。	Dブロック

平成26年1月（観察記録）

観察日	種名	観察記録	観察者 (敬称略)
12	コガモ ヒドリガモ カルガモ	<ul style="list-style-type: none"> 霜柱が立ち、ビオトープ公園のハス田一面に薄氷が張る寒い朝。溜池にコガモが集結し、鈴を振るような澄んだ声で鳴いていた。 ハシビロガモのつがい1組もみられた。 綾瀬川ではヒドリガモが川辺のコンクリートの上で並んで羽を休め、川面では数羽ずつ列をなして泳ぎ、カルガモの数より多く観察できた。 毛長川には水鳥の姿は無く、キンクロハジロをまだ目にしていない。ジョウビタキも見ていない。 	Dブロック
12	ユリカモメ ヒドリガモ イソシギ ダイサギ	<ul style="list-style-type: none"> 寒い朝です。ユリカモメが20～30羽の群で中川の上流へ向って飛んでいきます。 ヒドリガモの群も見る事ができました。 イソシギ、ダイサギは対岸です。 ワカケホンセイインコは野鳥には入りませんが、今までで、一番の数です。増えているのでしょうか？ 	Eブロック
16	スズメ ハシブトガラス ハシボソガラス	<ul style="list-style-type: none"> 雲一つない快晴。風少しあり、寒い。カラスがマンションや高いビルの上で三々五々日向ぼっこ？親水公園、八ヶ村落し、西沼公園の池などでは薄氷が張っていた。 道路端、小鳥用の餌を撒いた所にスズメが20羽ほど集まっていた。他に20羽以上のスズメの群れ4組に出会う。 どこかの塘（ねぐら）から出たばかりだったのか。谷中公園の電線に50羽以上のドバトが休んでいた。 昼間目立つメジロが寒いためか、殆んど見えなかった。それにしても寒い朝だった。 スズメの大きな群れに会ったため個体数は多かったが、それぞれの種の数が少なかった気がする。 	Eブロック
17		<ul style="list-style-type: none"> 快晴で気温6℃。 	Bブロック
17		<ul style="list-style-type: none"> 荒川右岸、堀切橋～千寿桜堤中学校間が堤防工事のため、河川敷で見られるツグミ、ユリカモメやヒドリガモなどが見られなかった。 	Aブロック
18	ツグミ	<ul style="list-style-type: none"> 今年初めてツグミを観ました。 東京拘置所脇の水路、珍しく底が見えていました。 	Dブロック
18	ハシボソガラス	<ul style="list-style-type: none"> ハシボソガラスが白い物をくわえて来て桜の木の根元に落葉をかけて隠して飛んで行った。申し訳ないが何を隠したのか見たらおにぎりのかけら、御飯の固まりだった。葉をかけて来たが隠した所が解るのでしょうか。 ワカケホンセイインコは久々に確認した。飛ぶ時、鳴いて知らせてくれた。 	Eブロック

平成26年1月（観察記録）

観察日	種名	観察記録	観察者 (敬称略)
18	ハクセキレイ メジロ シジュウカラ ツグミ オナガ キジバト	・数は少ないですが、ハクセキレイ、メジロ、シジュウカラ、ツグミ、オナガ、キジバトなど、多くの種類を見る事が出来ました。	Dブロック
20	タヒバリ	・河川敷の残土処理のダンプが行き交う中で、土手の南斜面でタヒバリの群れ？が恐れる様子も無く悠々とエサを探し求めていました。	Bブロック
20	コガモ	・1月はじめに手長川を見た時には、コガモが数羽だけだったが、今日はそこそこ見られた。 ・毛長川のあしを切り、たまたま土砂をとりのぞいているが、コガモの居場所がなくなりそうだ。あしにいる鳥もいなくなりそうだ。	Cブロック
20	ジョウビタキ	・堺川沿いも宅地化が進み、空地が少なくなり、鳥の種類も数も年ごとに減ってきて寂しいかぎりです。 ・この冬は、ジョウビタキも散歩中に1度見ただけだし、冬の常連客のアオジも1度も出逢えていない。今日は風が強かつたせいか、特に少なかった。 1/3、隣家の梅の木にアカハラがとまり、鳴いていた。（木の下にネコがいた） 1/9、堺川沿いを散歩中にモズ（♀）がいた。	Eブロック
21	ヒヨドリ オナガ	・10種確認。快晴、無風であったが気温が低いためか、野鳥の行動がぶいように感じられた。その中で、ヒヨドリとオナガが活発に飛びまわっていた。	Dブロック
25	オオジュリン スズメ	・天候くもり。今日は日本海を低気圧が通過するため16度まで気温が上がるという予報ですが、朝のうちはそれなりに寒かったです。車のフロントガラスに氷がびっしり付いていることからもわかりました。 ・荒川河川敷は相変わらず堤防の補強工事が行われています。枝をしならせてついていたトウネズミモチの実もだいぶ食べつくされ、鳥達にとつて一番厳しい季節がやってきました。 ・川は鳥影が少なく静かで、時折アシハラからオオジュリンの地鳴きが聞こえています。 ・千住桜木2丁目団地の一本の低木にスズメが60羽止まっていました。餌付けをしている人の姿は見えませんでしたが、公園のドバトが僕の姿を見つけて近寄って来るのを見ると、間違いなく餌付けは行われているようです。	Aブロック
25	カワラヒワ	・児童公園でカワラヒワの群に会いました。もう囀りをはじめています。	Eブロック

平成26年1月（観察記録）

観察日	種名	観察記録	観察者 (敬称略)
25	スズメ ムクドリ ジョウビタキ	<ul style="list-style-type: none"> スズメやムクドリたちが前回に比べて多く見かけるようになりました。 寺院では、ジョウビタキの雄が行ったり来たりとしている姿がとても印象的でした。 外来種であるワカケホンセイインコが、繁殖しているらしく数が増えてきているようでした。 また、冬の時期に見かけるツグミが全くいませんでした。 	Cブロック
25		<ul style="list-style-type: none"> 3月末まで該当地区の河川敷が大規模工事中のため鳥が集まりにくい状況です。 	Aブロック
25		<ul style="list-style-type: none"> ハヤブサ…今年も学びピア21に来ているが、今日は見られなかった。 	Aブロック
25	スズメ イソシギ キンクロハジロ オオバン コゲラ	<ul style="list-style-type: none"> いつものコースで7:00出発。今朝はスズメが少ない。 綾瀬川のイソシギや、花畠運河のキンクロハジロやオオバン等の水辺の鳥が小魚を食べていた。 公園ではコゲラが左右に首を振り赤い毛をちらつかせながら採餌中だった。 	Eブロック
25		<ul style="list-style-type: none"> この冬1番の暖かさ…というので出かけました。この調査区域で唯一の水鳥の観察場所である毛長川ですが、鳥の数よりゴミの数の方が目立つのは、とても残念に思います。 	Dブロック
25	オナガ	<ul style="list-style-type: none"> 東電グラウンドが社宅撤去のガレキ置場になっていた。廻りをシートで囲まれ堤防の上からだけ見渡せた。 千住大橋開発地域はマンション建設が始まり、ここでは一羽の鳥も見られなかった。 千住神社もマンション工事が始まり、オナガ一羽を見たのみ。鳥の住処がここでも追われている。 	Aブロック
27	オオバン	<ul style="list-style-type: none"> 今日はこのエリアでは大変珍しい鳥を見ました。その鳥はオオバンです。今までオオバンは見たことはありますが今回は8羽もグランドで草をついぱんでいるのです。それも最初はカルガモだと思い双眼鏡でよく見ると尾羽の形がちがうので静かに近づいたらオオバンでした。しばらく見ていたのですが人が来たため鳥たちは川へとんでいきました。 	Bブロック
28	カツブリ ヒヨドリ	<ul style="list-style-type: none"> カツブリが1羽泳いでいた。最近ここでは珍しい。 今回はいつもよりヒヨドリが多く、トウネズミモチの実は採食されてほとんど残っていなかった。 	Aブロック

平成26年1月（観察記録）

観察日	種名	観察記録	観察者 (敬称略)
28	ユリカモメ カワウ ヒドリガモ アメリカヒドリ チョウゲンボウ	<ul style="list-style-type: none"> カモメ類、特にユリカモメの遡上が極端に少なくなった。 カワウが船の後について飛ぶ姿が多く見られた。 ヒドリガモの群れの中にアメリカヒドリがいました。 チョウゲンボウが送電線の鉄塔から飛翔する姿が見られました。 <p>1/29</p> <ul style="list-style-type: none"> 冬鳥が少ない。特にツグミ類は1羽のみ。 例年観察しているシメ、アカハラ、シロハラはどうしたのか？ 	Eブロック

平成26年3月（観察記録）

観察日	種名	観察記録	観察者 (敬称略)
1	ツグミ	<ul style="list-style-type: none"> 前回見られなかったツグミを今回は見かけることができました。 緑が多くある公園は鳥数がいつもより少ない感じがしました。 外来種であるワカケホンセイインコは、すでに繁殖の準備をしていました。 	Cブロック
1	オオジュリン ユリカモメ ハシボソガラス スズメ	<ul style="list-style-type: none"> 荒川河川敷の担当地区の緩傾斜堤防工事は継続中です。土曜日は平常通りの作業のようです。鳥達は少ない餌を探して大変ですが、河川敷の葦原でオオジュリンの小群を見つけました。草の実や木の実を餌にしている他の鳥よりも、アシの中に潜む虫を食べているオオジュリンのほうが少しは食べ物が採りやすいかな?と感じました。 荒川上流を見上げるとたくさんのユリカモメが円を描いて高度をあげています。その数ざっと100羽です。見ていると大きな輪は幾つかに分かれて、別の方に向流れて行きました。以前印旛沼で千羽単位の大きなユリカモメの集団を見たことを思い出しました。カモメ柱と名付けたらいいのでしょうか、なかなか壮観です。 ハシボソガラスはそろそろ子育てに専念ですね。 スズメも繁殖前の高揚感を感じました。 	Aブロック
4	ツグミ	<ul style="list-style-type: none"> 本日は晴、風ほとんどなく、25種（山野の鳥14種、水辺の鳥10種）と多くの鳥が観察された。 ツグミが河川敷の方々でみられた。移動するたびに見わたせば、少なくとも数羽は観察された。合計48羽であった。 	Aブロック
4		<ul style="list-style-type: none"> 久しぶりに、多く鳥を観ました。 	Dブロック
4	オナガ オオジュリン	<ul style="list-style-type: none"> 千草園では梅の香りを楽しみながら、オナガの青くて長い尾羽を見る。 少なくなったアシ原でも、オオジュリンが来てくれた。 	Aブロック
4	ウグイス メジロ	<ul style="list-style-type: none"> 満開の白梅のお陰でしょうか、今朝は、ウグイス、メジロに出会えました。 毎年調査日に見られるジョウビタキ、今日は残念ながら会えませんでした。 	Dブロック
4	スズメ オオジュリン メジロ シジュウカラ アオジ ウグイス	<ul style="list-style-type: none"> 今日の観察は最後に見たモズを加えて21種160羽。まずまずである。 よく晴れて風もなく、スズメ、オオジュリン、メジロ、シジュウカラがアシの中をとびまわっていた。見ているこっちも気分がよい。 アオジとウグイスは動いているのを見たが、声で判断した。 	Cブロック

平成26年3月（観察記録）

観察日	種名	観察記録	観察者 (敬称略)
4	ムクドリ メジロ オナガ オオバン	<ul style="list-style-type: none"> ようやく空気が少し柔らかくなった。風も刺すような冷たさはない。鳥たちもようやく活発になってきて、1月同様ムクドリがとても目立つ。 東京未来大学近くの生垣でツバキの花に顔を突っ込むメジロを見た。かわいい。 千住曙町の都のポンプ場の樹木にはオナガが鈴なりになっていた。こんな大群に出会うのは久しぶりだった。 古綾瀬川のオオバンは居着いているらしい。人からはほとんど見えない位置なので安心できるのだろう。 	Aブロック
7	ヒドリガモ オオセグロカモメ	<ul style="list-style-type: none"> 空気も風も冷たい朝。綾瀬川、伝右川、毛長川の三川合流の水門の川辺のコンクリートの日だまりに、うずくまってじっとしているヒドリガモが28羽。 その端に2まわり大きくオオセグロカモメが1羽たたずんでいた。 	Dブロック
8	ウミネコ モズ	<ul style="list-style-type: none"> 西新井橋横の野球場の芝生の上にウミネコの成鳥がいた。飛んでいたウミネコの幼鳥が近くに降りようとしたが、成鳥はつついで追い払った。 モズの雄が3羽いた。1月調査時と同じと思われる個体をはさんで上・下流側に各1羽ずつで、いずれも100m以上離れていた。 	Bブロック
8	ハシボソガラス	<ul style="list-style-type: none"> ハシボソガラスの番が、木の枝を折って持ち去りました。巣材を集めています。 (2月28日 ウグイスの初鳴きを聞きました。まだ練習中の様です。) 	Eブロック
8	シジュウカラ コグラ	<ul style="list-style-type: none"> シベリア高気圧のおおう晴れた日でした。 シジュウカラとコグラの混群がいました。 今回はたくさん見られてよかったです。 	Eブロック
8		<ul style="list-style-type: none"> いまだ河川敷工事中のため鳥は少なかったです。 	Aブロック
8	ヒドリガモ ユリカモメ カワウ スズメ ツグミ	<ul style="list-style-type: none"> お天気も良く、日の出が早くなったので明るい朝です。 ヒドリガモは土手に上ってお食事中です。 ユリカモメは1羽、2羽、6羽と上流に飛んで行きます。 カワウの18羽は船の後について来ました。 スズメは電柱のトランスごとに、3~4羽ずつ群れていて、そろそろ巣作りでしょうか？ 今日はツグミにも出会えました。 ワカケホンセイインコは、いつもの所（ゴルフの打ちっぱなしの鉄塔）に2羽いました。 	Eブロック

平成26年3月（観察記録）

観察日	種名	観察記録	観察者 (敬称略)
8		・11種類の鳥を観察出来ました。めずらしい鳥はいませんでしたが、地道に観察していきたいと思います。	Dブロック
8	ハシブトガラス シジュウカラ ムクドリ スズメ ヒドリガモ オナガガモ ウグイス	・紅梅、白梅が咲き始めた3月。今朝は快晴です。しかし、空気は冷たく、水溜りには氷が張り霜柱の立つ真冬の寒さです。 ・舍人公園のバードサンクチュアリC地区の整備工事で木の伐採が始まりました。森のハシブトガラスがB地区に入り全体的にカラスの数が多くなったように見えます。 ・シジュウカラがさえずりの鳴き方になり、単独になり始めました。 ・ムクドリ、スズメもそろそろ集団から少數になり始めています。 ・大池のヒドリガモは、まだ多いものの、オナガガモは急に少なくなりました。 ・ウグイスのさえずりが大池の中州から聞こえました。春、近しです。	Cブロック
9	ヒドリガモ カワウ	・帰りにもう一度中川を見るとヒドリガモが110羽土手に上がったり降りたり ・カワウが15羽上流に向かいながら代わる代わるもぐって食事中。	Eブロック
9	メジロ	・風は冷たいが公園のヒガンサクラや梅の花が咲き、メジロがどの花にも来ていた。忙しそうに春の蜜を求めている。梢の先に飛上ったり花にもぐったり春の喜びを感じている様子。 ・調査地域が工事が多くなり鳥は墨田川添のあたりにしきみられなかつた。 ・千住大橋開発地域、千住神社はマンション工事が始まり、1羽の鳥も見られなかつた。	Aブロック
10	カルガモ	・寒い日が続いた3月初め…にしても冬鳥の数は少ない。 ・カモ類もカルガモ1種でガッカリ！	Dブロック
10	スズメ ムクドリ	・8時頃気温5℃、風が強いので体感温度は零度以下？しだれ柳の芽がだいぶ膨らんできて遠目にも緑色になってきた。 ・スズメとムクドリが群れているのが目立つ。一本の木にスズメ14羽とか、ムクドリ17羽など。スズメに関しては2月から、ムクドリは3月に入って群れているのを何度も見かけた。 ・梅の花があちこちで満開になっているが、寒いせいか、メジロを見つけることができなかつた。最近、昼間よく見かけていたのだが、どこに行ってしまったのか。 ・シジュウカラも見えず。 ・2丁目の畑でルリビタキの雄を見たという人がいて、気を付けていたのだが、まだ見ていない。もう少し暖かくなれば？	Eブロック

平成26年3月（観察記録）

観察日	種名	観察記録	観察者 (敬称略)
10	カワウ ハヤブサ ユリカモメ ウミネコ セグロカモメ ハシブトガラス	<ul style="list-style-type: none"> 久しぶりに、カワウの小群が見られた。 時々（学びピア21の小屋根で）、ハヤブサが見られる。今日も1羽見られた。 ユリカモメが強い風を除けるのに集団で、しかも水上で退避していた。 陸上のウミネコは斜めに歩いていた。 街中で歩く大型のセグロカモメを発見。左翼をケガ、付根に出血痕、翼を垂らし飛べない。近くをハシブトガラスが動きまわる。恐らく強風で電線に触れ、落ちたかもしれない。 	Aブロック
10	スズメ アオサギ	<ul style="list-style-type: none"> 8時頃から北風が強くなった。寒い観察日となった。 ニウナイスズメについては自信がないので専門家の判断をお願いしたい。写真同封。（後日、スズメと判明） アオサギについては、公園上空を通過した。 	Eブロック
10	オナガガモ	<ul style="list-style-type: none"> 風が強かったので数が少なかった。 オナガガモは池から上って風をさけていた。 	Eブロック
10	ヒバリ	<ul style="list-style-type: none"> 気温4°Cで寒い朝。天気は晴。初めてヒバリを観察する。 	Bブロック
10	オオバン	<ul style="list-style-type: none"> 寒さと強風の中にしては、わりあい鳥の種類を見ることができました。 特に最近、このエリアではオオバンが居ついているように思います。いつまでも居て欲しいと思います。 	Bブロック
10		<ul style="list-style-type: none"> 近頃になく冷たい。途中から強風になり砂ぼこりがまっていた。 ドバトの羽が散乱し、強風で飛ばされたのか風切羽はもうない。猛禽類の食痕であろうか。 	Aブロック
10	スズメ	<ul style="list-style-type: none"> 寒い調査日になりました。 スズメ少なく、カモメは20羽くらい見かけましたが種類がわからませんでした。強風のためか木の枝で休んでいる鳥は見かけませんでした。 	Bブロック
11	タシギ	<ul style="list-style-type: none"> タシギは江北橋と扇大橋との間の鉄塔下にある水たまりのアシ原でエサを探していて、暫くするとアシの中に消えました。このフィールドでは初めて見ました。 江北橋と鉄塔との間当たりのグラウンドと荒川の間でタヌキを見ました。目と目が合ってから数秒後に草の下の巣？に隠れました。こんな場所で・・・とびっくり、とにかく冬は越せたようです。 	Bブロック

平成26年3月（観察記録）

観察日	種名	観察記録	観察者 (敬称略)
11	ジョウビタキ アオジ	・隣の梅の木にいつも来ている、アカハラが今日は見られなかつたが、しばらくぶりの、ジョウビタキ♂とアオジを見る事が出来た。	Eブロック
12	カワウ ジョウビタキ	・3年振りにカモメ類の遡上が200羽を超えた。 ・遡上する運搬船に、カワウが20羽ほど群れてついて行きました。 ・例年観察した、アカハラ、シロハラ、そしてシメは、今冬は見ることができませんでした。 ・ジョウビタキの雄2羽が縄張り争いでどうか、壮烈な競いを何回となく繰返していました。	Eブロック
12	スズメ ハシボソガラス	・少し前に比べ寒さがゆるんできた。風なし、陽は出ているがうす雲がかかり陽ざしは弱い。春の気配は感じられペアの鳥も多く、電柱トランスの支えの角パイプ、鉄製波板の屋根の隙間に出入りする多くのスズメを見かけた。 ・ハシボソガラスが10mに満たない公園の松に、まだ小さい粗末な巣をかけていた。	Dブロック
12	ハシボソガラス	・電柱近くの電線に留っていたハシボソガラスが、針金ハンガーを1本銜えているのを見た。巣造りの最中か…。	Bブロック
12	メジロ ヒヨドリ	・3月になっても仲々暖かくならず。 ・今日はメジロがサザンカの植込みに現れたり、鳥の種類が少ないのに何回も姿を見せた。 ・ヒヨドリがふくらみかけたさくらの蕾に集まっていた。	Eブロック
12		・梅が見頃で、その下に水仙もまっ盛り、山茶花は終りに近く、ようやく春がめぐってきました。枝下しされた樹が多く、鳥は少なめ。ただ、先月ほころびかけた梅の木に、メジロが5~6羽、忙しく動いていたのが調査に合わず残念でした。	Cブロック
16	ヒドリガモ ユリカモメ アオジ	・ヒドリガモは毎年40羽程、都市農横の芝川で観察できる。人の立ち入りにくい斜面で、草を食べる姿が見られる。 ・調査区域ではユリカモメの姿が少なくなっている。 ・今日は少ないが、アオジは多く見られるようになった。	Cブロック
18	ウグイス	・ウグイスがアシの中でちょろちょろしているのを見つけた。帰り頃にはさえずり始めたが、赤~ホケキヨにはほど遠い鳴き声だった。 ・スズメは1羽も見なかつた。	Bブロック

平成26年3月（観察記録）

観察日	種名	観察記録	観察者 (敬称略)
18	スズメ ヒヨドリ メジロ カラス	<ul style="list-style-type: none"> スズメ、ヒヨドリなど、鳴声が甲高くなり、繁殖期をむかえたことが分る。 梅や寒桜などの花が満開で、メジロやヒヨドリが喜んで蜜を吸っていた。 カラスの餌運びも見られました。 	Dブロック
18	ヒヨドリ	<ul style="list-style-type: none"> 梅の花が満開。ヒヨドリが群れて美味しそうに蜜を吸っていました。 	Dブロック

平成26年3月(繁殖行動確認)

観察日	種名	確認場所	繁殖行動と判断した根拠	観察者 (敬称略)
8	ハシボソガラス	大谷田2～5丁目	ハシボソガラスの番が、木の枝を折って持ち去りました。巣材を集めています。	Eブロック
12	ハシボソガラス	10mに満たない公園の松	営巣の確認	Dブロック
12	スズメ	鉄製波板の屋根の隙間	営巣の確認	Dブロック
12	スズメ	電柱トランスの支えの角パイプ	営巣の確認	Dブロック

資料編

資料 1

平成25年度 野鳥モニターニ名簿・担当地域 (五十音順・敬称略)

No.	氏名	担当地域	
1		E	佐野一丁目、六木二丁目 (中川含む)
2		E	神明南一・二丁目、北加平町
3		E	加平一～三丁目、しょうぶ沼公園
4		A	宮城全域 (河川敷含む)
5		A	小台全域 (河川敷含む)
6		D	保木間一～三丁目
7		B	興野二丁目、扇三丁目
8		E	東和全域・谷中公園
9		A	柳原一・二丁目 (荒川右岸河川敷含む)
10		D	梅島一～三丁目
11		D	花畠三～五丁目
12		E	神明一～三丁目、六木三・四丁目 (堀川、中川含む)
13		B	江北橋～扇大橋 (荒川左岸河川敷)
14		B	鹿浜橋～熊の木 (荒川左岸河川敷)
15		B	千住新橋～東武線鉄橋南 (荒川左岸河川敷)
16		E	大谷田一丁目
17		A	千住元町 (荒川河川敷除く) 、千住桜木二丁目
18		D	西保木間一～三丁目
19		D	保木間四～五丁目
20		A	新田全域 (荒川右岸河川敷含む)

No.	氏名	担当地域
21		C 西竹の塚二丁目、東伊興二・三丁目、伊興本町一・二丁目
22		C 都市農業公園（新芝川含む）、芝川水門～鹿浜橋（荒川左岸河川敷）
23		E 中川五丁目（中川右岸区境まで含む）
24		C 舎人公園
25		D 花畠六、七、八丁目
26		A 西新井橋～千住新橋（荒川河川敷右岸）
27		A 千住曙町、千住関屋町、千住東一・二丁目、千住仲町、日光街道以東の千住河原町及び千住橋戸町
28		E 東綾瀬公園
29		C 舎人一・二丁目（見沼代親水公園含む）
30		C 舎人三～六丁目（毛長川含む）、古千谷本町三・四丁目
31		A 千住桜木一丁目、千住緑町全域（隅田川含む）、日光街道以西の千住河原町、千住橋戸町、千住宮元町
32		A 千住五丁目、日ノ出町全域（河川敷含む）
33		B 熊之木～江北橋（荒川左岸河川敷）
34		E 大谷田二（中川含む）～五丁目
35		B 関原二・三丁目、梅田五・八丁目、西新井栄町一丁目
36		D 島根全域
37		D 西綾瀬全域
38		E 佐野二丁目、辰沼全域、六木一丁目
39		B 西新井橋～千住新橋（荒川河川敷左岸）
40		B 扇大橋～西新井橋（荒川左岸河川敷）

資料2 調査月別確認種と個体数

NO	目名	科名	種名	5月	7月	9月	11月	1月	3月	合計
1	カイツブリ	カイツブリ	カイツブリ	3	2	1	0	8	5	19
2			カンムリカイツブリ	1	0	0	0	0	0	1
3	ペリカン	ウ	カワウ	130	67	63	382	236	207	1,085
4	コウノトリ	サギ	ゴイサギ	0	6	0	1	1	0	8
5			ダイサギ	12	12	23	18	4	2	71
6			チュウサギ	0	1	0	0	0	0	1
7			コサギ	16	10	20	9	4	4	63
8			アオサギ	16	14	34	21	10	5	100
9	カモ	カモ	マガモ	0	0	0	4	0	0	4
10			カルガモ	115	88	71	165	142	96	677
11			コガモ	0	0	0	37	78	61	176
12			ヒドリガモ	0	0	0	279	542	480	1,301
13			アメリカヒドリ	0	0	0	0	1	0	1
14			オナガガモ	0	0	0	120	173	87	380
15			ハシビロガモ	0	0	3	9	5	11	28
16			ホシハジロ	0	0	0	7	1	4	12
17			キンクロハジロ	0	0	0	0	12	4	16
18			スズガモ	0	0	0	0	61	56	117
19	タカ	タカ	ミサゴ	0	0	0	0	1	0	1
20			トビ	0	0	0	0	0	1	1
21			オオタカ	0	0	0	1	1	0	2
22		ハヤブサ	ハヤブサ	0	0	0	0	0	1	1
23			チョウゲンボウ	0	4	6	6	3	1	20
24	ツル	クイナ	バン	4	7	1	9	11	11	43
25			オオバン	1	0	1	61	85	81	229
26	チドリ	チドリ	コチドリ	5	2	0	0	0	0	7
27			メダイチドリ	15	0	0	0	3	0	18
28		シギ	キアシシギ	4	0	0	0	0	0	4
29			イソシギ	16	1	22	26	16	10	91
30			チュウシャクシギ	4	0	0	0	0	0	4
31			タシギ	2	0	0	0	1	4	7
32			セイタカシギ	0	0	0	15	0	0	15
33		カモメ	ユリカモメ	5	0	0	596	643	766	2,010
34			セグロカモメ	0	5	6	35	36	88	170
35			オオセグロカモメ	0	0	0	0	1	2	3
36			ウミネコ	0	87	21	3	5	13	129
37			コアジサシ	57	2	0	0	0	0	59
38	ハト	ハト	キジバト	134	107	103	95	96	93	628
39	ブッポウソウ	カワセミ	カワセミ	1	0	4	1	4	1	11
40	キツツキ	キツツキ	コゲラ	3	4	3	1	4	3	18

NO	目名	科名	種名	5月	7月	9月	11月	1月	3月	合計	
41	スズメ	ヒバリ	ヒバリ	17	21	1	12	12	8	71	
42		ツバメ	ツバメ	188	222	9	0	0	0	419	
43		イワツバメ	イワツバメ	15	10	1	0	0	0	26	
44		セキレイ	ハクセキレイ	32	37	22	142	112	94	439	
45		タヒバリ	タヒバリ	0	0	0	9	9	23	41	
46		ヒヨドリ	ヒヨドリ	70	76	64	898	644	421	2,173	
47		モズ	モズ	12	0	6	22	16	13	69	
48		ツグミ	ジョウビタキ	0	0	0	24	10	7	41	
49		イソヒヨドリ	イソヒヨドリ	0	0	2	0	0	0	2	
50		アカハラ	アカハラ	0	0	0	0	1	0	1	
51		シロハラ	シロハラ	0	0	0	0	0	1	1	
52		ツグミ	ツグミ	2	0	0	17	99	341	459	
53	ウグイス	ウグイス	ウグイス	1	0	0	9	6	8	24	
54		オオヨンキリ	オオヨンキリ	18	11	0	0	0	0	29	
55		センダムシクイ	センダムシクイ	1	0	0	0	0	0	1	
56		セッカ	セッカ	5	5	0	0	0	0	10	
57		ヒタキ	コサメビタキ	0	0	1	0	0	0	1	
58		エナガ	エナガ	0	0	0	0	26	0	26	
59		シジュウカラ	ヒガラ	0	3	0	0	0	0	3	
60		シジュウカラ	シジュウカラ	59	80	77	72	108	80	476	
61		メジロ	メジロ	0	6	6	93	130	140	375	
62	ホオジロ	ホオジロ	ホオジロ	5	0	0	2	0	10	17	
63		アオジ	アオジ	0	0	0	9	20	17	46	
64		オオジュリン	オオジュリン	0	0	0	3	23	96	122	
65		アトリ	カワラヒワ	79	33	13	81	162	161	529	
66		シメ	シメ	0	0	0	0	1	0	1	
67	ハタオリドリ	スズメ	スズメ	1880	2003	3182	2269	2354	1892	13,580	
68	ムクドリ	ムクドリ	ムクドリ	1268	1909	1044	868	1011	1056	7,156	
69	カラス	オナガ	オナガ	168	176	151	143	149	142	929	
70		ハシボソガラス	ハシボソガラス	124	161	137	159	176	208	965	
71		ハシブトガラス	ハシブトガラス	207	162	193	233	187	221	1,203	
種名特定できず			カラス S P	5	0	0	0	5	0	10	
確認種個体数合計 (羽)				4,700	5,334	5,291	6,966	7,449	7,036	36,776	

【参考】

NO	目名	科名	種名	5月	7月	9月	11月	1月	3月	合計
	かご抜け (家禽やペットが野生化したもの)	ワカケホンセイインコ		4	0	3	2	18	6	33

資料3 ブロック別確認種と個体数

N0	目名	科名	種名	A	B	C	D	E	区分計
1	カイツブリ	カイツブリ	カイツブリ	2	2	9	3	3	19
2			カンムリカイツブリ	1	0	0	0	0	1
3	ペリカン	ウ	カワウ	211	351	25	23	475	1,085
4	コウノトリ	サギ	ゴイサギ	1	5	0	1	1	8
5			ダイサギ	28	16	10	0	17	71
6			チュウサギ	0	1	0	0	0	1
7			コサギ	22	25	9	0	7	63
8			アオサギ	34	21	5	7	33	100
9	カモ	カモ	マガモ	0	2	0	0	2	4
10			カルガモ	54	38	284	156	145	677
11			コガモ	44	26	90	16	0	176
12			ヒドリガモ	366	0	186	49	700	1,301
13			アメリカヒドリ	0	0	0	0	1	1
14			オナガガモ	2	0	95	0	283	380
15			ハシビロガモ	0	2	22	2	2	28
16			ホシハジロ	0	3	9	0	0	12
17			キンクロハジロ	4	0	0	3	9	16
18			スズガモ	51	0	0	0	66	117
19	タカ	タカ	ミサゴ	0	1	0	0	0	1
20			トビ	1	0	0	0	0	1
21			オオタカ	0	0	1	1	0	2
22		ハヤブサ	ハヤブサ	1	0	0	0	0	1
23			チョウゲンボウ	6	11	0	1	2	20
24	ツル	クイナ	バン	6	1	36	0	0	43
25			オオバン	101	40	56	0	32	229
26	チドリ	チドリ	コチドリ	0	6	0	0	1	7
27			メダイチドリ	0	15	0	3	0	18
28		シギ	キアシシギ	1	3	0	0	0	4
29			イソシギ	40	43	2	0	6	91
30			チュウシャクシギ	1	3	0	0	0	4
31			タシギ	3	4	0	0	0	7
32		セイタカシギ	セイタカシギ	0	0	0	15	0	15
33		カモメ	ユリカモメ	782	123	15	9	1081	2,010
34			セグロカモメ	75	8	4	2	81	170
35			オオセグロカモメ	0	0	0	2	1	3
36			ウミネコ	58	47	0	0	24	129
37			コアジサシ	10	36	2	0	11	59
38	ハト	ハト	キジバト	94	43	122	115	254	628
39	ブッポウソウ	カワセミ	カワセミ	2	1	7	0	1	11
40	キツツキ	キツツキ	コグラ	0	0	2	3	13	18

NO	目名	科名	種名	A	B	C	D	E	区分計		
41	スズメ	ヒバリ	ヒバリ	57	9	5	0	0	71		
42		ツバメ	ツバメ	173	68	44	40	94	419		
43		イワツバメ	イワツバメ	4	19	1	0	2	26		
44		セキレイ	ハクセキレイ	152	88	54	56	89	439		
45		タヒバリ	タヒバリ	11	30	0	0	0	41		
46		ヒヨドリ	ヒヨドリ	314	210	307	583	759	2,173		
47		モズ	モズ	27	19	21	1	1	69		
48		ツグミ	ジョウビタキ	3	8	11	11	8	41		
49		イソヒヨドリ	イソヒヨドリ	2	0	0	0	0	2		
50		アカハラ	アカハラ	0	0	0	0	1	1		
51		シロハラ	シロハラ	0	0	0	1	0	1		
52		ツグミ	ツグミ	174	120	59	39	67	459		
53		ウグイス	ウグイス	1	7	5	2	9	24		
54		オオヨシキリ	オオヨシキリ	12	11	5	0	1	29		
55		センダイムシクイ	センダイムシクイ	1	0	0	0	0	1		
56		セッカ	セッカ	8	2	0	0	0	10		
57		ヒタキ	コサメビタキ	0	0	0	0	1	1		
58		エナガ	エナガ	26	0	0	0	0	26		
59		シジュウカラ	ヒガラ	0	0	3	0	0	3		
60		シジュウカラ	シジュウカラ	55	11	132	123	155	476		
61		メジロ	メジロ	71	18	44	101	141	375		
62		ホオジロ	ホオジロ	5	10	1	1	0	17		
63		アオジ	アオジ	15	22	7	0	2	46		
64		オオジュリン	オオジュリン	65	38	14	0	5	122		
65		アトリ	カワラヒワ	136	142	145	23	83	529		
66		シメ	シメ	0	0	0	0	1	1		
67		ハタオリドリ	スズメ	3742	1296	1641	2850	4051	13,580		
68		ムクドリ	ムクドリ	2149	1231	902	917	1957	7,156		
69		カラス	オナガ	110	20	111	256	432	929		
70			ハシボソガラス	146	131	295	240	153	965		
71			ハシブトガラス	214	92	123	224	550	1,203		
種名特定できず			カラス S P	0	0	1	7	2	10		
確認種個体数合計（羽）				9,674	4,479	4,922	5,886	11,815	36,776		

【参考】

NO	目名	科名	種名	A	B	C	D	E	区分計
	かご抜け (家禽やペットが野生化したもの)		ワカケホンセイインコ	0	0	18	0	15	33

資料4 平成25年5月に確認された野鳥

No.	種名	地域別					区分別			合計
		A	B	C	D	E	川	公園	その他	
1	カイツブリ	0	0	3	0	0	0	3	0	3
2	カンムリカイツブリ	1	0	0	0	0	1	0	0	1
3	カワウ	39	57	4	2	28	123	2	5	130
4	ダイサギ	2	1	5	0	4	5	3	4	12
5	コサギ	2	5	3	0	6	15	0	1	16
6	アオサギ	1	3	2	4	6	15	1	0	16
7	カルガモ	9	11	43	21	31	24	89	2	115
8	バン	0	0	4	0	0	4	0	0	4
9	オオバン	0	0	1	0	0	0	1	0	1
10	コチドリ	0	5	0	0	0	5	0	0	5
11	メダイチドリ	0	15	0	0	0	15	0	0	15
12	キアシシギ	1	3	0	0	0	4	0	0	4
13	イソシギ	7	9	0	0	0	16	0	0	16
14	チュウシャクシギ	1	3	0	0	0	4	0	0	4
15	タシギ	0	2	0	0	0	2	0	0	2
16	ユリカモメ	3	2	0	0	0	5	0	0	5
17	コアジサシ	8	36	2	0	11	57	0	0	57
18	キジバト	33	7	26	24	44	18	66	50	134
19	カワセミ	0	0	1	0	0	1	0	0	1
20	コゲラ	0	0	1	0	2	2	1	0	3
21	ヒバリ	16	0	1	0	0	17	0	0	17
22	ツバメ	89	26	22	13	38	127	20	41	188
23	イワツバメ	4	9	0	0	2	13	0	2	15
24	ハクセキレイ	9	11	5	1	6	25	5	2	32
25	ヒヨドリ	8	2	17	12	31	16	25	29	70
26	モズ	0	0	12	0	0	0	6	6	12
27	ツグミ	1	1	0	0	0	2	0	0	2
28	ウグイス	0	0	0	1	0	0	0	1	1
29	オオヨシキリ	10	5	3	0	0	16	2	0	18
30	センダイムシクイ	1	0	0	0	0	0	1	0	1
31	セッカ	4	1	0	0	0	5	0	0	5
32	シジュウカラ	7	4	18	9	21	6	31	22	59
33	ホオジロ	5	0	0	0	0	5	0	0	5
34	カワラヒワ	20	23	5	16	15	42	15	22	79
35	スズメ	487	184	153	447	609	429	564	887	1880
36	ムクドリ	282	256	191	123	416	564	383	321	1268
37	オナガ	40	5	9	23	91	6	88	74	168
38	ハシボソガラス	22	18	29	38	17	39	41	44	124
39	ハシブトガラス	36	23	13	45	90	43	62	102	207
	合計	1148	727	573	779	1468	1671	1409	1615	4695
*	カラス S P	0	0	0	5	0	0	2	3	5
	総合計(羽)	1148	727	573	784	1468	1671	1411	1618	4700

【参考】かご抜け(家禽やペットが野生化したもの)

No.	種名	地域ブロック別					区分場所別			合計
		A	B	C	D	E	川	公園	その他	
*	ワカケホンセイインコ	0	0	0	0	4	0	0	4	4

資料5 平成25年7月に確認された野鳥

No.	種名	地域別					区分別			合計
		A	B	C	D	E	川	公園	その他	
1	カイツブリ	0	0	2	0	0	0	2	0	2
2	カワウ	11	33	1	4	18	58	1	8	67
3	ゴイサギ	1	5	0	0	0	6	0	0	6
4	ダイサギ	8	2	0	0	2	12	0	0	12
5	チュウサギ	0	1	0	0	0	1	0	0	1
6	コサギ	6	4	0	0	0	10	0	0	10
7	アオサギ	7	3	1	0	3	14	0	0	14
8	カルガモ	11	0	36	4	37	42	46	0	88
9	チョウゲンボウ	0	3	0	0	1	1	1	2	4
10	バン	0	0	7	0	0	0	7	0	7
11	コチドリ	0	1	0	0	1	2	0	0	2
12	イソシギ	1	0	0	0	0	1	0	0	1
13	セグロカモメ	4	0	0	1	0	4	0	1	5
14	ウミネコ	46	37	0	0	4	86	1	0	87
15	コアジサシ	2	0	0	0	0	2	0	0	2
16	キジバト	16	6	16	22	47	13	41	53	107
17	コゲラ	0	0	0	0	4	2	2	0	4
18	ヒバリ	21	0	0	0	0	21	0	0	21
19	ツバメ	78	42	19	27	56	142	36	44	222
20	イワツバメ	0	10	0	0	0	10	0	0	10
21	ハクセキレイ	8	8	5	9	7	26	7	4	37
22	ヒヨドリ	6	6	14	16	34	11	24	41	76
23	オオヨシキリ	2	6	2	0	1	9	2	0	11
24	セッカ	4	1	0	0	0	5	0	0	5
25	ヒガラ	0	0	3	0	0	0	3	0	3
26	シジュウカラ	3	1	26	22	28	15	52	13	80
27	メジロ	6	0	0	0	0	0	5	1	6
28	カワラヒワ	13	7	2	4	7	12	8	13	33
29	スズメ	579	138	179	522	585	470	604	929	2003
30	ムクドリ	826	117	156	281	529	1011	600	298	1909
31	オナガ	22	9	21	48	76	12	101	63	176
32	ハシボソガラス	28	23	58	38	14	51	56	54	161
33	ハシブトガラス	25	14	8	53	62	36	55	71	162
合計		1734	477	556	1051	1516	2085	1654	1595	5334
総合計(羽)		1734	477	556	1051	1516	2085	1654	1595	5334

資料6 平成25年9月に確認された野鳥

No.	種名	地域別					区分別			合計
		A	B	C	D	E	川	公園	その他	
1	カイツブリ	0	0	0	1	0	0	1	0	1
2	カワウ	12	28	3	1	19	62	0	1	63
3	ダイサギ	7	9	2	0	5	23	0	0	23
4	コサギ	8	11	1	0	0	20	0	0	20
5	アオサギ	15	3	1	0	15	33	0	1	34
6	カルガモ	4	0	47	7	13	38	33	0	71
7	ハシビロガモ	0	2	1	0	0	2	1	0	3
8	チョウゲンボウ	4	2	0	0	0	6	0	0	6
9	バン	0	0	1	0	0	0	1	0	1
10	オオバン	1	0	0	0	0	1	0	0	1
11	イソシギ	9	11	1	0	1	22	0	0	22
12	セグロカモメ	6	0	0	0	0	6	0	0	6
13	ウミネコ	7	2	0	0	12	21	0	0	21
14	キジバト	15	4	16	9	59	5	42	56	103
15	カワセミ	2	0	2	0	0	4	0	0	4
16	コゲラ	0	0	1	1	1	0	3	0	3
17	ヒバリ	1	0	0	0	0	1	0	0	1
18	ツバメ	6	0	3	0	0	6	3	0	9
19	イワツバメ	0	0	1	0	0	0	1	0	1
20	ハクセキレイ	9	4	1	1	7	16	5	1	22
21	ヒヨドリ	16	3	4	6	35	13	28	23	64
22	モズ	2	1	2	0	1	5	1	0	6
23	イソヒヨドリ	2	0	0	0	0	0	0	2	2
24	コサメビタキ	0	0	0	0	1	0	1	0	1
25	シジュウカラ	6	0	19	16	36	8	39	30	77
26	メジロ	0	0	0	0	6	0	6	0	6
27	カワラヒワ	4	2	0	0	7	1	10	2	13
28	スズメ	1366	422	327	324	743	1705	798	679	3182
29	ムクドリ	187	197	275	150	235	329	415	300	1044
30	オナガ	10	0	28	35	78	15	86	50	151
31	ハシボソガラス	19	19	36	36	27	49	46	42	137
32	ハシブトガラス	63	13	17	21	79	51	57	85	193
合計		1781	733	789	608	1380	2442	1577	1272	5291
総合計(羽)		1781	733	789	608	1380	2442	1577	1272	5291

【参考】かご抜け(家禽やペットが野生化したもの)

No.	種名	地域ブロック別					区分場所別			合計
		A	B	C	D	E	川	公園	その他	
*	ワカケホンセイインコ	0	0	2	0	1	1	0	2	3

資料7 平成25年11月に確認された野鳥

No.	種名	地域別					区分別			合計
		A	B	C	D	E	川	公園	その他	
1	カワウ	63	69	4	0	246	376	3	3	382
2	ゴイサギ	0	0	0	0	1	1	0	0	1
3	ダイサギ	9	3	2	0	4	17	0	1	18
4	コサギ	4	2	3	0	0	9	0	0	9
5	アオサギ	5	7	1	3	5	20	0	1	21
6	マガモ	0	2	0	0	2	3	1	0	4
7	カルガモ	6	6	78	49	26	111	54	0	165
8	コガモ	0	0	36	1	0	36	1	0	37
9	ヒドリガモ	101	0	49	4	125	267	12	0	279
10	オナガガモ	0	0	29	0	91	1	119	0	120
11	ハシビロガモ	0	0	9	0	0	8	1	0	9
12	ホシハジロ	0	0	7	0	0	0	7	0	7
13	オオタカ	0	0	0	1	0	0	0	1	1
14	チヨウゲンボウ	1	5	0	0	0	6	0	0	6
15	バン	3	0	6	0	0	8	1	0	9
16	オオバン	35	2	18	0	6	56	5	0	61
17	イソシギ	12	12	1	0	1	26	0	0	26
18	セイタカシギ	0	0	0	15	0	0	0	15	15
19	ユリカモメ	256	83	10	0	247	414	0	182	596
20	セグロカモメ	22	1	0	0	12	35	0	0	35
21	ウミネコ	0	3	0	0	0	3	0	0	3
22	キジバト	6	7	29	11	42	19	41	35	95
23	カワセミ	0	0	1	0	0	1	0	0	1
24	コゲラ	0	0	0	0	1	0	1	0	1
25	ヒバリ	8	0	4	0	0	12	0	0	12
26	ハクセキレイ	48	27	17	22	28	98	31	13	142
27	タヒバリ	9	0	0	0	0	9	0	0	9
28	ヒヨドリ	134	93	111	230	330	147	381	370	898
29	モズ	12	7	2	1	0	19	3	0	22
30	ジョウビタキ	2	1	9	8	4	2	10	12	24
31	ツグミ	5	1	4	0	7	14	0	3	17
32	ウグイス	1	1	2	0	5	5	1	3	9
33	シジュウカラ	21	0	15	11	25	5	32	35	72
34	メジロ	25	5	13	25	25	6	34	53	93
35	ホオジロ	0	1	1	0	0	2	0	0	2
36	アオジ	2	5	2	0	0	9	0	0	9
37	オオジュリン	3	0	0	0	0	3	0	0	3
38	カワラヒワ	21	19	16	0	25	64	12	5	81
39	スズメ	468	216	303	541	741	627	604	1038	2269
40	ムクドリ	257	158	70	89	294	232	121	515	868
41	オナガ	3	0	13	37	90	8	65	70	143
42	ハシボソガラス	25	25	51	39	19	55	48	56	159
43	ハシブトガラス	31	14	27	39	122	48	78	107	233
合計		1598	775	943	1126	2524	2782	1666	2518	6966
総合計(羽)		1598	775	943	1126	2524	2782	1666	2518	6966

【参考】かご抜け(家禽やペットが野生化したもの)

No.	種名	地域ブロック別					区分場所別			合計
		A	B	C	D	E	川	公園	その他	
*	ワカケホンセイインコ	0	0	2	0	0	0	0	2	2

資料8 平成26年1月に確認された野鳥

No.	種名	地域別					区分別			合計
		A	B	C	D	E	川	公園	その他	
1	カイツブリ	1	1	3	1	2	5	3	0	8
2	カワウ	40	97	9	9	81	225	5	6	236
3	ゴイサギ	0	0	0	1	0	1	0	0	1
4	ダイサギ	1	1	1	0	1	4	0	0	4
5	コサギ	1	2	1	0	0	4	0	0	4
6	アオサギ	5	4	0	0	1	10	0	0	10
7	カルガモ	10	17	42	49	24	101	41	0	142
8	コガモ	28	7	30	13	0	78	0	0	78
9	ヒドリガモ	208	0	54	13	267	506	33	3	542
10	アメリカヒドリ	0	0	0	0	1	1	0	0	1
11	オナガガモ	0	0	53	0	120	0	173	0	173
12	ハシビロガモ	0	0	3	2	0	2	3	0	5
13	ホシハジロ	0	0	1	0	0	0	1	0	1
14	キンクロハジロ	2	0	0	1	9	12	0	0	12
15	スズガモ	51	0	0	0	10	0	2	59	61
16	ミサゴ	0	1	0	0	0	1	0	0	1
17	オオタカ	0	0	1	0	0	0	1	0	1
18	チョウゲンボウ	1	0	0	1	1	3	0	0	3
19	バン	2	0	9	0	0	6	5	0	11
20	オオバン	33	22	15	0	15	75	10	0	85
21	メダイチドリ	0	0	0	3	0	0	0	3	3
22	イソシギ	6	6	0	0	4	16	0	0	16
23	タシギ	1	0	0	0	0	1	0	0	1
24	ユリカモメ	121	17	0	3	502	643	0	0	643
25	セグロカモメ	16	1	2	0	17	31	5	0	36
26	オオセグロカモメ	0	0	0	0	1	1	0	0	1
27	ウミネコ	0	1	0	0	4	5	0	0	5
28	キジバト	13	11	22	21	29	16	41	39	96
29	カワセミ	0	0	3	0	1	3	1	0	4
30	コゲラ	0	0	0	2	2	0	2	2	4
31	ヒバリ	6	6	0	0	0	12	0	0	12
32	ハクセキレイ	39	22	15	13	23	73	19	20	112
33	タヒバリ	0	9	0	0	0	9	0	0	9
34	ヒヨドリ	92	82	97	165	208	121	249	274	644
35	モズ	8	4	4	0	0	13	3	0	16
36	ジョウビタキ	1	4	2	3	0	1	2	7	10
37	アカハラ	0	0	0	0	1	1	0	0	1
38	ツグミ	34	25	11	11	18	63	24	12	99
39	ウグイス	0	3	0	0	3	3	2	1	6
40	シジュウカラ	8	3	33	30	34	25	44	39	108
41	メジロ	17	9	14	28	62	24	35	71	130
42	アオジ	9	9	1	0	1	18	2	0	20
43	オオジュリン	12	2	4	0	5	23	0	0	23
44	カワラヒワ	32	38	68	0	24	70	92	0	162
45	シメ	0	0	0	0	1	1	0	0	1
46	スズメ	425	185	429	407	908	482	711	1161	2354
47	ムクドリ	246	280	117	133	235	486	232	293	1011
48	エナガ	26	0	0	0	0	26	0	0	26
49	オナガ	9	3	29	88	20	0	65	84	149
50	ハシボソガラス	32	19	50	44	31	33	75	68	176
51	ハシブトガラス	35	10	15	29	98	33	62	92	187
	合計	1571	901	1138	1070	2764	3267	1943	2234	7444
*	カラス S P	0	0	1	2	2	2	1	2	5
	総合計(羽)	1571	901	1139	1072	2766	3269	1944	2236	7449

【参考】かご抜け(家禽やペットが野生化したもの)

No.	種名	地域ブロック別					区分場所別			合計
		A	B	C	D	E	川	公園	その他	
*	ワカケホンセイインコ	0	0	10	0	8	7	1	10	18

資料9 平成26年3月に確認された野鳥

No.	種名	地域別					区分別			合計
		A	B	C	D	E	川	公園	その他	
1	カツブリ	1	1	1	1	1	4	1	0	5
2	カワウ	46	67	4	7	83	198	2	7	207
3	ダイサギ	1	0	0	0	1	2	0	0	2
4	コサギ	1	1	1	0	1	4	0	0	4
5	アオサギ	1	1	0	0	3	4	1	0	5
6	カルガモ	14	4	38	26	14	55	25	16	96
7	コガモ	16	19	24	2	0	53	8	0	61
8	ヒドリガモ	57	0	83	32	308	437	43	0	480
9	オナガガモ	2	0	13	0	72	2	85	0	87
10	ハシビロガモ	0	0	9	0	2	8	3	0	11
11	ホシハジロ	0	3	1	0	0	3	1	0	4
12	キンクロハジロ	2	0	0	2	0	4	0	0	4
13	スズガモ	0	0	0	0	56	0	37	19	56
14	トビ	1	0	0	0	0	1	0	0	1
15	ハヤブサ	1	0	0	0	0	1	0	0	1
16	チョウゲンボウ	0	1	0	0	0	1	0	0	1
17	バン	1	1	9	0	0	6	5	0	11
18	オオバン	32	16	22	0	11	74	7	0	81
19	イソシギ	5	5	0	0	0	10	0	0	10
20	タシギ	2	2	0	0	0	4	0	0	4
21	ユリカモメ	402	21	5	6	332	761	1	4	766
22	セグロカモメ	27	6	2	1	52	87	0	1	88
23	オオセグロカモメ	0	0	0	2	0	2	0	0	2
24	ウミネコ	5	4	0	0	4	13	0	0	13
25	キジバト	11	8	13	28	33	15	36	42	93
26	カワセミ	0	1	0	0	0	1	0	0	1
27	コゲラ	0	0	0	0	3	0	2	1	3
28	ヒバリ	5	3	0	0	0	5	3	0	8
29	ハクセキレイ	39	16	11	10	18	63	14	17	94
30	タヒバリ	2	21	0	0	0	23	0	0	23
31	ヒヨドリ	58	24	64	154	121	55	161	205	421
32	モズ	5	7	1	0	0	13	0	0	13
33	ジョウビタキ	0	3	0	0	4	1	3	3	7
34	シロハラ	0	0	0	1	0	0	0	1	1
35	ツグミ	134	93	44	28	42	230	78	33	341
36	ウグイス	0	3	3	1	1	4	2	2	8
37	シジュウカラ	10	3	21	35	11	15	35	30	80
38	メジロ	23	4	17	48	48	16	41	83	140
39	ホオジロ	0	9	0	1	0	10	0	0	10
40	アオジ	4	8	4	0	1	17	0	0	17
41	オオジュリン	50	36	10	0	0	96	0	0	96
42	カワラヒワ	46	53	54	3	5	90	57	14	161
43	スズメ	417	151	250	609	465	493	445	954	1892
44	ムクドリ	351	223	93	141	248	501	196	359	1056
45	オナガ	26	3	11	25	77	0	77	65	142
46	ハシボソガラス	20	27	71	45	45	49	98	61	208
47	ハシブトガラス	24	18	43	37	99	50	82	89	221
合計		1842	866	922	1245	2161	3481	1549	2006	7036

【参考】かご抜け（家禽やペットが野生化したもの）

No	種名	地域ブロック別					区分場所別			合計
		A	B	C	D	E	川	公園	その他	
*	ワカケホンセイインコ	0	0	4	0	2	0	0	6	6

資料10 年度別確認種及び個体数一覧

No	目名	科名	種名	H4	H5	H6	H7	H8	H9	H10	H11	H12
1	カイツブリ	カイツブリ	カイツブリ	7	22	21	31	19	11	9	17	19
2			ハジロカイツブリ									
3			カンムリカイツブリ				2	1				1
4	ペリカン	ウ	カワウ	472	325	1,185	1,943	2,018	2,387	1,888	1,917	2,075
5	コウノトリ	サギ	ヨシゴイ				1		5			1
6			ゴイサギ	3	38	18	27	31	73	43	29	34
7			ササゴイ	1		1	4	5	4	8	5	3
8			アカガシラサギ									
9			アマサギ					1				7
10			ダイサギ	3	23	19	44	61	58	41	56	78
11			チュウサギ		2		2			1		
12			コサギ	25	87	93	135	83	150	116	131	120
13			アオサギ	2	3	9	17	18	28	25	55	75
*			サギS P									
14	カモ	カモ	オオハクチョウ							4		
15			コハクチョウ							4		
16			オシドリ						1			
17			マガモ	2	17	1	10	15	12	6	9	24
18			カルガモ	131	555	519	599	562	480	755	642	1,077
19			トモエガモ									
20			コガモ	87	190	229	439	287	231	254	94	224
21			ヨシガモ		29							
22			オカヨシガモ		22	13	18	11	6	17	54	51
23			ヒドリガモ	30	152	152	279	365	371	274	376	568
24			アメリカヒドリ									1
25			オナガガモ	210	442	472	1,392	972	800	515	458	608
26			ハシビロガモ		54	73	94	23	32	10		
27			ホシハジロ	345	1,956	803	817	714	230	197	185	340
28			アカハジロ		4							
29			オオホシハジロ				1					
30			キンクロハジロ	153	96	379	500	432	281	148	93	150
31			スズガモ			2						2
*			カモH						1			1
*			アメリカヒドリH									
*			カモS P					31	46		9	87
*			ハクチョウS P									
32	タカ	タカ	ミサゴ									
33			トビ		2	2				4	1	
34			オオタカ								2	
*			タカS P								1	
35		ハヤブサ	ハヤブサ				1					1
36			チョウゲンボウ	1		9	32	28	27	29	35	44
37	キジ	キジ	コジュケイ			1						
38			キジ			5	5	4	5	6	4	
39	ツル	クイナ	クイナ									
40			バン		94	100	78	89	76	103	69	67
41			オオバン		1	8	6		4	6	3	9
42	チドリ	チドリ	コチドリ	3	20	10	11	21	17	19	20	23
43			イカルチドリ									
44			シロチドリ			7	1		4			
45			メダイチドリ			1						
46			ダイゼン									
47			タゲリ									
48			ハマシギ				1					
49		シギ	タカブシギ		1							
50			キアシシギ	2	2	1						3
51			イソシギ	4	11	13	15	31	28	34	34	49

No	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25
1	4	12	6	1	9	3	13	24	22	24	16	21	19
2		1		1	1				1	2			
3		2				2		1	12				1
4	1,325	1,716	1,679	1,117	1,597	872	947	841	1,356	1,548	963	1,057	1,085
5		3	1	4	2	1					1		
6	17	15	11	20	17	10	7	15	14	14	5	2	8
7	1	4	10	2	14	5	2		2	1			
8													1
9	1						1	1					
10	62	57	73	105	68	50	74	122	91	74	58	55	71
11	3	1		1			7	37	15				1
12	115	82	93	118	117	70	132	89	113	69	61	59	63
13	95	72	97	112	104	64	108	89	89	118	117	90	100
*	1	1	1						1		1	3	
14													
15									13				
16						2							
17	10	1	3	6		4	5		5	11	7	37	4
18	1,176	763	905	652	881	742	606	736	690	757	760	786	677
19									1				
20	227	383	348	210	304	151	266	201	244	214	309	163	176
21	3	5	4		1								
22	39	63	33	59	40	14	15		8	6	1	1	
23	932	1,511	1,494	1,180	1,518	1,785	2,217	1,661	1,578	1,925	739	805	1,301
24	2												1
25	508	275	362	81	289	185	429	158	273	439	412	283	380
26	11	2	18	25	22	21	30	6	13	41	18	43	28
27	177	176	208	204	95	27	38	7	24	24	19	3	12
28													
29		1											
30	85	94	89	104	126	97	117	72	76	69	40	22	16
31	4				3	1	1			4	1		117
*	1			1		1					10		
*					1								
*	6	1	2	2		1	5		2	2	1		
*					10	1							
32													1
33	1	2	2	3			1	3			1	1	1
34		1	2	1	1	2	3	2	3	5	3	1	2
*									6	1			
35			4						2	1	1	2	1
36	32	78	32	31	31	32	24	20	15	13	12	19	20
37													
38							1						
39		1						1	2	1			
40	59	54	115	129	145	136	136	69	53	69	42	86	43
41	13	32	50	132	160	132	209	160	163	234	246	204	229
42	11	15	8	17	6	8	19	3	13	19	18	23	7
43			1						5		4	2	
44	1							8	1				
45									4	17	27	1	18
46		2											
47		2			1								
48	2									1			
49													
50	2	2	6	11	11	19	24	3	7	9	25		4
51	51	39	57	73	80	71	104	81	112	93	111	125	91

No	目名	科名	種名	H4	H5	H6	H7	H8	H9	H10	H11	H12
52	チドリ	シギ	オオソリハシシギ					1				
53			チュウシャクシギ									
54			タシギ				4	2	2	1		
*			シギ S P									
55		カモメ	セイタカシギ									
56			ヒレアシシギ	アカエリヒレアシシギ								
57			ユリカモメ	514	916	1,565	3,913	3,639	6,567	4,636	6,677	7,809
58			セグロカモメ	10	115	566	279	132	287	261	265	419
59			オオセグロカモメ								1	3
60			シロカモメ									1
61			カモメ		26	13	28	4	53	6	8	12
62			ウミネコ	33	160	96	255	186	167	307	343	482
63			ミツユビカモメ									
64			アジサシ						4			
65			コアジサシ	9		56	46	75	163	64	29	34
*			カモメ S P					3	7	1	3	4
66	ハト	ハト	シラコバト			3			1			
67			キジバト	456	891	1,084	1,011	945	966	934	997	1,065
68			アオバト					1				
69	カッコウ	カッコウ	カッコウ	1								1
70			ツツドリ									
71			ホトトギス				1					
*			カッコウ S P							1		
72	フクロウ	フクロウ	トラフズク						2			
73			コミニズク		1	4	2	14	3			
74			アオバズク									
75	アマツバメ	アマツバメ	ヒメアマツバメ						4		12	
76			アマツバメ									
77	ブッポウソウ	カワセミ	カワセミ		3		3	4		8	3	5
78	キツツキ	キツツキ	アカゲラ									
79			コゲラ	3	11	7	25	7	23	35	36	14
80	スズメ	ヒバリ	ヒバリ	37	106	184	249	250	266	196	140	180
81			ツバメ	ショウドウツバメ								
82			ツバメ	269	416	437	426	335	417	509	364	391
83			イワツバメ	12	50	60	57	54	74	73	64	79
84		セキレイ	キセキレイ		1		2					
85			ハクセキレイ	159	348	493	624	535	607	606	604	708
86			セグロセキレイ	7	48	20	2	3	4	1	4	
87			ピンズイ									
88			タヒバリ		1	39	40	52	30	5	1	10
89	ヒヨドリ	ヒヨドリ	ヒヨドリ	1,248	2,116	2,154	1,805	1,691	1,788	1,846	2,475	3,008
90	モズ	モズ	モズ	9	37	50	57	36	32	63	40	45
91	レンジャク	レンジャク	キレンジャク					73				
92			ヒレンジャク									
93	ツグミ	ツグミ	ルリビタキ									
94			ジョウビタキ	11	19	18	22	45	41	57	57	45
95			ノビタキ			1	2	2	5			
96			サバクヒタキ				2		3			
97			イソヒヨドリ			1						1
98			アカハラ			6	1	2	1	1		4
99			シロハラ					1	3		5	2
100			ツグミ	123	277	485	573	707	584	513	483	565
101	ウグイス	ウグイス	ウグイス	5	32	18	25	27	27	41	42	37
102			コヨシキリ							1	1	
103			オオヨシキリ	20	43	111	105	133	133	115	73	128
104			メボソムシクイ			1				1		
105			センダイムシクイ		1							
106			セッカ	9	18	41	71	67	65	58	56	104
*			ウグイス S P									

No	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25
52													
53							3	5	7	5	5	2	4
54			2				1		3	4	18	10	7
*				1	1		2						
55					1	3	3		2				15
56					1								
57	9, 297	7, 376	6, 200	7, 289	5, 450	5, 808	6, 789	4, 167	2, 899	3, 793	1, 448	1, 424	2, 010
58	413	307	364	297	217	189	337	245	163	163	128	145	170
59	19	10	1	4	1	8	12	2	2	2	5	6	3
60													
61			2	3	4	13	5			1		23	
62	610	319	577	142	249	225	417	396	302	67	222	98	129
63				1									
64			4										
65	81	21	72	37	84	78	36	89	61	63	45	33	59
*					84		3	2	3	32	84	19	2
66							4	2	1			1	
67	1, 019	1, 078	1, 127	942	917	881	757	723	675	607	688	693	628
68													
69	1												
70				1									
71						1							
*													
72													
73			1										
74						1							
75					23	8	22		11		15	6	
76		1			1								
77	8	6	3	4	11	8	6	4	26	17	13	10	11
78	1												
79	12	21	36	21	26	25	22	37	18	15	23	17	18
80	193	197	134	118	96	63	67	74	127	77	86	50	71
81	77												
82	711	492	713	627	587	665	578	553	589	574	456	506	419
83	44	25	33	36	17	20	4	6	45	14	7	36	26
84			1						1		1		
85	678	755	591	698	684	676	677	631	536	562	556	489	439
86	2					1				1		13	
87											1		
88	14	5	13	90	66	62	77	109	73	106	69	133	41
89	3, 245	3, 213	3, 435	2, 646	2, 863	3, 415	2, 665	3, 058	2, 285	2, 178	2, 118	2, 597	2, 173
90	48	56	43	52	46	76	53	103	88	72	68	66	69
91													
92										4			
93		2						1					
94	67	90	90	91	43	64	67	70	57	64	35	62	41
95			2			1	1	5		1	9	1	
96													
97					1		5	1	5	3	2	4	2
98	4	4	5	6		9	6	6	6	3		7	1
99	7	7	1	12		16	3	9	11	6	2	14	1
100	599	889	617	844	588	767	618	1, 190	669	1, 343	716	875	459
101	51	47	48	41	39	58	60	39	44	32	15	26	24
102													
103	97	104	80	92	101	83	68	84	67	56	52	47	29
104													
105							1					1	
106	90	57	53	51	28	19	31	35	34	26	26	36	10
*		1											

No	目名	科名	種名	H4	H5	H6	H7	H8	H9	H10	H11	H12
107	スズメ	ヒタキ	キビタキ	1	2	1	1	3	1		5	
108			オジロビタキ									
109			オオルリ		1							
110			サメビタキ				1					
111			エゾビタキ								1	
112			コサメビタキ	1			9	1	1		2	1
*			ヒタキ S P								2	
113		エナガ	エナガ									
114			ツリスガラ					9		3		
115			シジュウカラ	コガラ				1		1	1	
116			ヒガラ				1				1	
117			ヤマガラ								2	
118			シジュウカラ	49	147	221	108	211	106	142	180	121
119	メジロ	メジロ		76	106	200	192	235	196	347	361	223
120	ホオジロ	ホオジロ		5	20	8	57	42	71	57	41	66
121		ホオアカ									1	1
122		キマユホオジロ					1					
123		カシラダカ				22			9	2	1	5
124		アオジ				66	60	128	75	111	114	106
125		クロジ								1		
126		シベリアジュリン						1				
127		オオジュリン		2	49	42	106	167	86	164	54	127
128	アトリ	アトリ										
129		カワラヒワ		256	552	566	455	822	506	429	463	554
130		マヒワ				2		184				2
131		ベニマシコ										
132		ウソ							1			
133		コイカル										
134		シメ			3	7		6	6	9	13	2
135	ハタオリドリ	ニュウナイスズメ										
136		スズメ		3,287	7,756	10,129	12,217	11,639	14,300	12,487	15,329	18,003
137		ムクドリ	コムクドリ									9
138	カラス	ムクドリ		1,593	2,647	5,478	4,924	4,755	6,035	5,323	5,070	6,566
139		カケス				3						
140		オナガ		412	493	618	742	532	489	417	318	557
141		ハシボソガラス		111	353	389	772	673	781	788	836	1,397
142		ハシブトガラス		404	1,091	1,357	1,217	1,099	1,393	1,674	2,189	2,910
*		カラス S P							1	10	10	39
総合計(羽)				10,613	23,007	30,765	36,999	35,359	41,760	36,824	42,110	51,557

【参考】かご抜け(家禽やペットが野生化したもの)

No	目名	科名	種名	H4	H5	H6	H7	H8	H9	H10	H11	H12
*	かご抜け (家禽やペットが野生化したもの)	ペニスズメ							9	12	3	24
*		ワカケホンセイインコ										
*		セキセイインコ										
*		アヒル										
総合計(羽)				0	0	0	0	0	9	12	3	24

※種名に S P あるものは、種名まで確認できなかったもの

※種名に H あるものは交雑種(hybrid)、特定の種の特徴が強く表れているものはその種名の後に H をついている

No	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25
107	2		1	1	1		1	2	3		2		
108			1										
109				1									
110					4								
111						1							
112	1	1			1	1				1	1	1	1
*			1										
113	1					6							26
114				2									
115				31			4		9	18	4		
116		1									2	10	3
117			4	1		10							
118	230	179	303	299	315	584	611	537	470	491	441	651	476
119	436	545	311	416	296	588	510	561	401	420	366	494	375
120	62	99	38	37	24	35	35	33	29	17	25	49	17
121											1		
122													
123	3	1	3	2	9			1			11	3	2
124	175	160	161	171	129	133	119	81	57	55	40	108	46
125													
126	1												
127	297	190	310	348	265	299	347	248	223	208	133	205	122
128		3						14					
129	748	907	838	619	496	851	722	734	646	687	596	693	529
130		12									3		24
131		3	3	4		1			2				4
132													5
133													2
134	21	9	18	10	1	3	6	19	7	14	1	23	1
135				16									
136	18,171	18,821	15,919	15,258	15,573	14,844	15,073	14,726	13,913	14,747	14,010	14,028	13,580
137	71		70	38	6	30	24	31	18	13	38	3	
138	6,728	6,913	7,024	5,967	6,658	7,223	6,748	6,680	6,459	5,781	6,902	7,823	7,156
139					1								
140	545	630	662	709	622	840	635	591	739	757	763	990	929
141	1,456	1,340	1,229	1,212	1,441	998	1,004	802	834	829	922	912	965
142	3,899	3,725	3,936	3,207	3,282	2,698	2,659	1,903	1,702	1,642	1,707	1,223	1,203
*				10	30	12	32	121	125	59	27	7	10
計	55,212	54,091	50,794	46,997	46,946	46,911	47,472	43,141	39,492	41,513	36,862	38,584	36,776

No	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25
*	2	2											
*				1	9	4	4	9	3	9	16	6	33
*								2	1	3			1
*							1						
計	2	2	0	1	9	4	5	11	4	12	16	7	33

※参考
《野鳥モニタ一人数・調査地域数（平成4年度～平成25年度）》

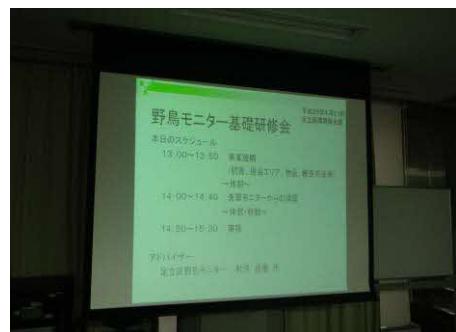
年度（平成）	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25
モニタ一人数	23	36	36	31	27	30	29	32	31	33	34	36	33	35	36	37	34	36	38	36	40	40
調査地域数	23	36	36	36	32	35	34	37	38	39	40	40	38	40	39	39	39	39	41	41	41	40

資料11 平成25年度 野鳥モニター活動記録

- 4月 野鳥モニターに区内の野鳥生息調査を委嘱
- 4月21日（土）野鳥モニター基礎研修会
- 5月 野鳥生息調査（1回目）
- 6月27日（木）野鳥モニター調査報告会（24年度調査分）
- 7月 野鳥生息調査（2回目）
- 9月 野鳥生息調査（3回目）
- 9月22日（日）「あだち自然体験デー」の探鳥ブースに参加
- 11月 野鳥生息調査（4回目）
- 12月22日（日）野鳥モニター研修会（都市農業公園）
- 1月 野鳥生息調査（5回目）
- 3月 野鳥生息調査（6回目）



基礎研修会



基礎研修会



研修会



研修会

平成26年8月発行

発 行 足立区

編 集 足立区環境部環境政策課環境事業係
東京都足立区中央本町一丁目17番1号
電話03-3880-5860